

脳血管内治療に関するアンケート調査

# 調査報告書

— 平成28年3月 —

東京都福祉保健局  
医療政策部医療政策課

## 目次

### I 概要

1. 調査目的 .....	3
2. 調査概要 .....	3
3. 配布数・回収数・回収率 .....	4
4. 集計表記規則 .....	4

### II 調査結果

1. 回答施設属性 .....	5
2. t-PA の実施可否について .....	7
3. 脳卒中診療に関する体制について .....	12
4. 脳血管内治療の実施可否について .....	24
5. 自由意見 .....	41

### III 資料

【二次医療圏・区市町村別】〈A施設B施設数〉 .....	45
【二次医療圏別】〈急性期虚血性脳卒中に対する脳血管内治療実施可能状況〉 .....	46
■アンケート調査票 .....	47

# I 概 要



## 1. 調査目的

平成17年に急性期虚血性脳卒中に対して、t-PAが使用可能となるなど、急性期脳卒中の診療体制が急速に進歩してきた。東京都においても平成20年度に東京都脳卒中医療連携協議会を設置し、東京都の実情に合った急性期脳卒中の治療体制の構築及び評価検証を行ってきた。

さらに、近年の血栓回収デバイス開発や改良により急性期虚血性脳卒中の治療成績が向上している状況から、脳血管内治療検討ワーキンググループを設置して、脳血管内治療の医療連携に関して現在検討を進めている。

本アンケートは、検討を進めるために、都内病院における脳血管内治療に関する現状を把握することを目的とする。

## 2. 調査概要

### ■ 調査対象機関

東京都脳卒中急性期医療機関：163 病院

内訳（A：118 病院　　B：45 病院）

※以下「病院」は「施設」と表記統一する。

### ■ 調査日時

平成28年1月29日から同2月22日まで

### ■ 実施方法

内 容：調査協力依頼文・記入要領・調査票・返信封筒

送付方法：郵送（調査委託先→対象施設）

回 収：返信用封筒（対象施設→東京都→調査委託先）

### ■ アンケート調査票

A4サイズ4ページ

### ■ 督促対応

アンケート調査票回答期日未着施設に対し、内容物一式再送付

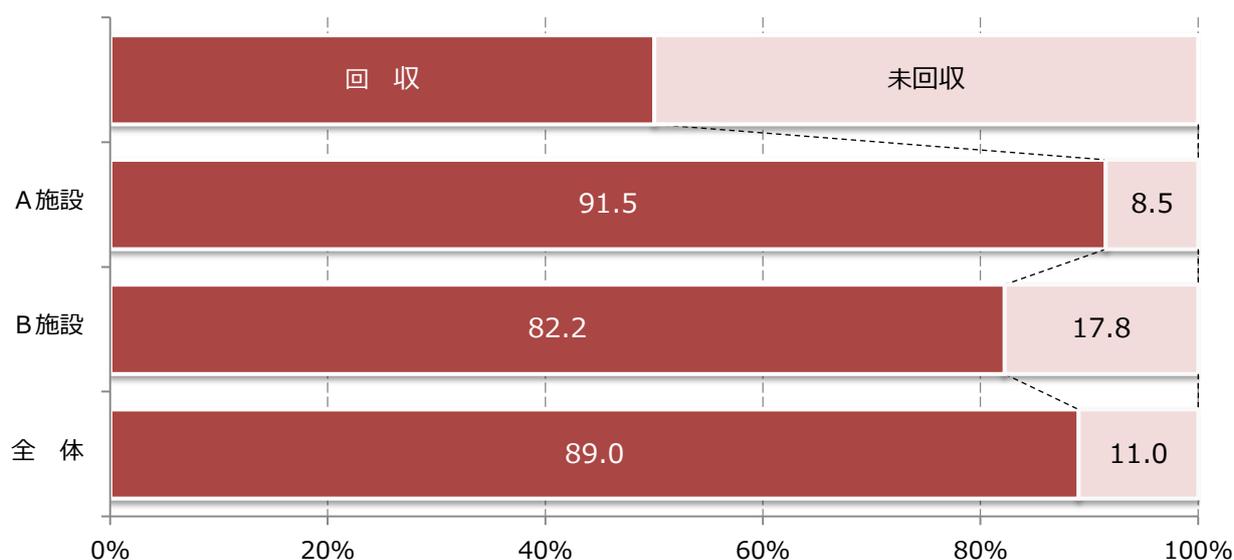
電話による督促（7施設）

### 3. 配布数・回収数・回収率

	配布数	回収数	回収率 (%)
A施設	118	108	91.5
B施設	45	37	82.2
全体	163	145	89.0

※匿名回答 1 施設は無効とし回収数には含まず。

※A施設回収数内 2 施設、B施設回収数内 3 施設については東京都脳卒中急性期医療機関認定取消申請あり。



### 4. 集計表記規則

本書の集計結果表記規則を以下に記載する。

- 調査対象施設（母集団 N = 163）に対し、145 施設から回答を得た。（n = 145）  
表およびグラフ中の「n」は、各設問に対する回答比率の基数として示す。
- 母数「n」を基に算出した割合数値は百分率で表記し、小数点第 2 位を四捨五入している。そのため、内訳合計が全体の計に一致しないことがあるが、表記上は「100.0」としている。
- グラフ内割合表記について  
グラフ内割合表記において、全ての値について表記するのを原則としているが、紙面制約上省略しているもの（数量表記の 0、割合表記の 0.0% など）が一部ある。

## II 調査結果



## 1. 回答施設属性

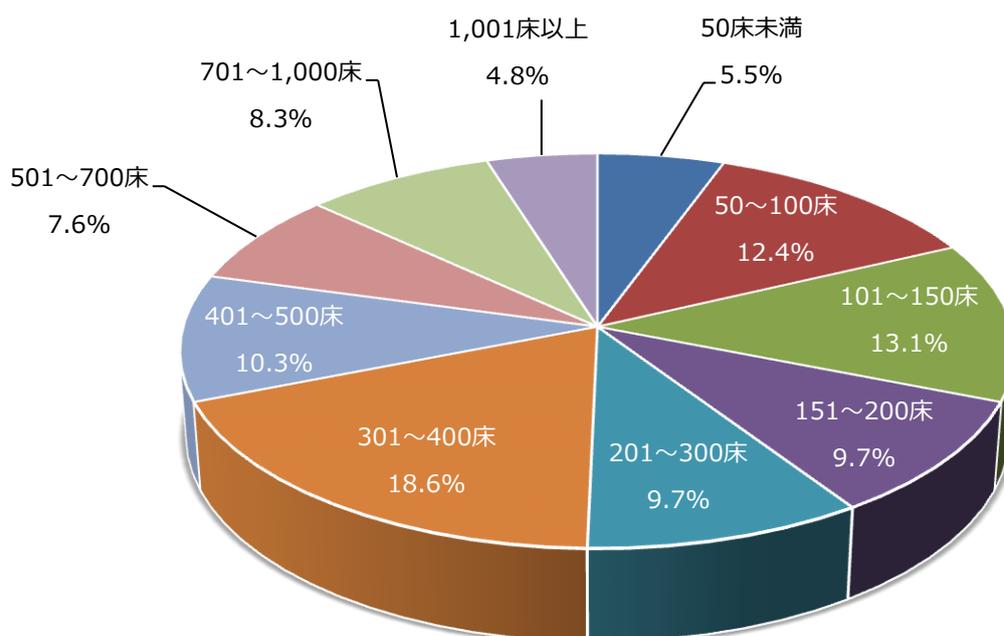
### ■ 病床数における施設数・割合

	A施設		B施設		全 体	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
50床未満	4	2.9	4	2.9	8	5.5
50～100床	6	4.3	11	7.9	18	12.4
101～150床	7	5.0	10	7.1	19	13.1
151～200床	9	6.4	4	2.9	14	9.7
201～300床	11	7.9	2	1.4	14	9.7
301～400床	24	17.1	3	2.1	27	18.6
401～500床	15	10.7	0	0.0	15	10.3
501～700床	11	7.9	0	0.0	11	7.6
701～1,000床	12	8.6	0	0.0	12	8.3
1,001床以上	7	5.0	0	0.0	7	4.8
計	106	75.7	34	24.3	145	100.0

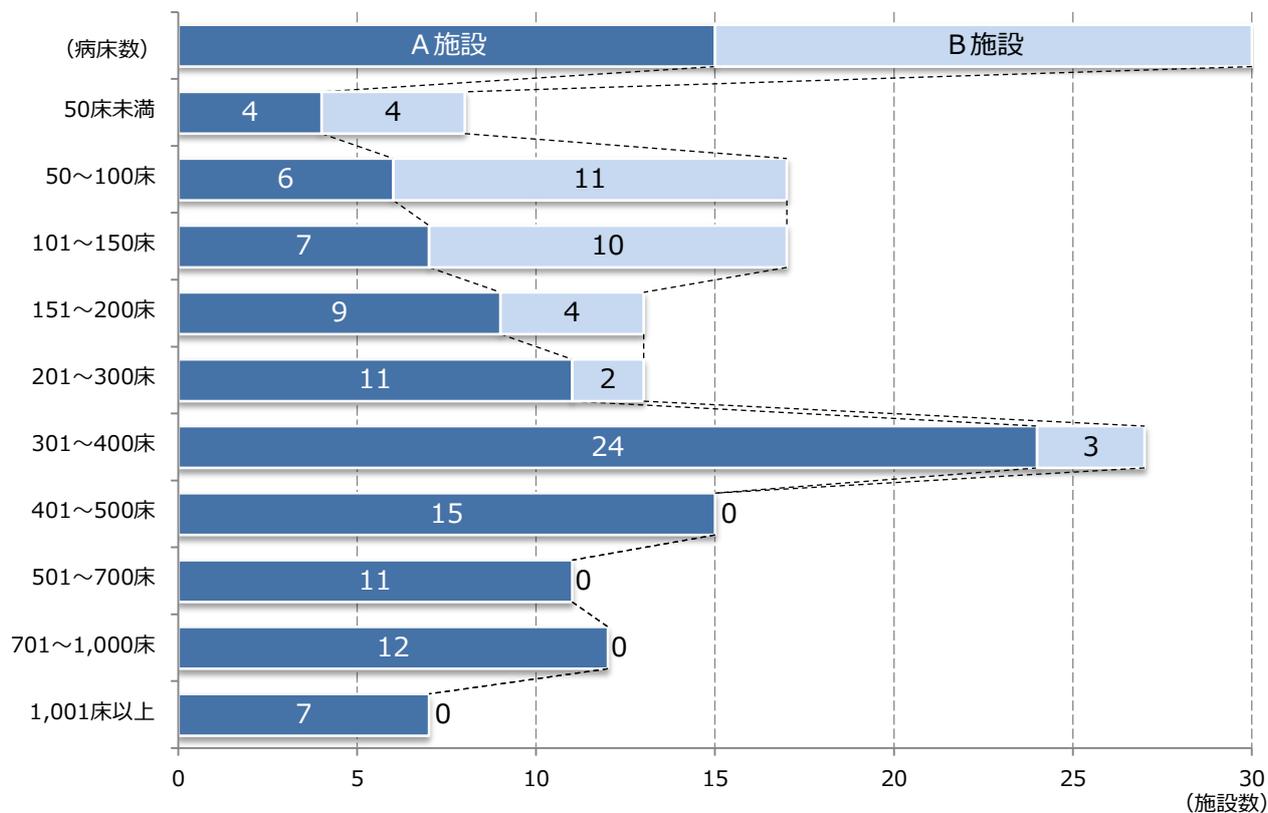
※＜A施設 B施設割合＞ 回答施設（145 施設）から東京都脳卒中急性期医療機関認定取消申請（5 施設）を除いた（n=140）に対する施設数の値。

＜全体＞ 東京都脳卒中急性期医療機関認定取消申請の5 施設を含む。

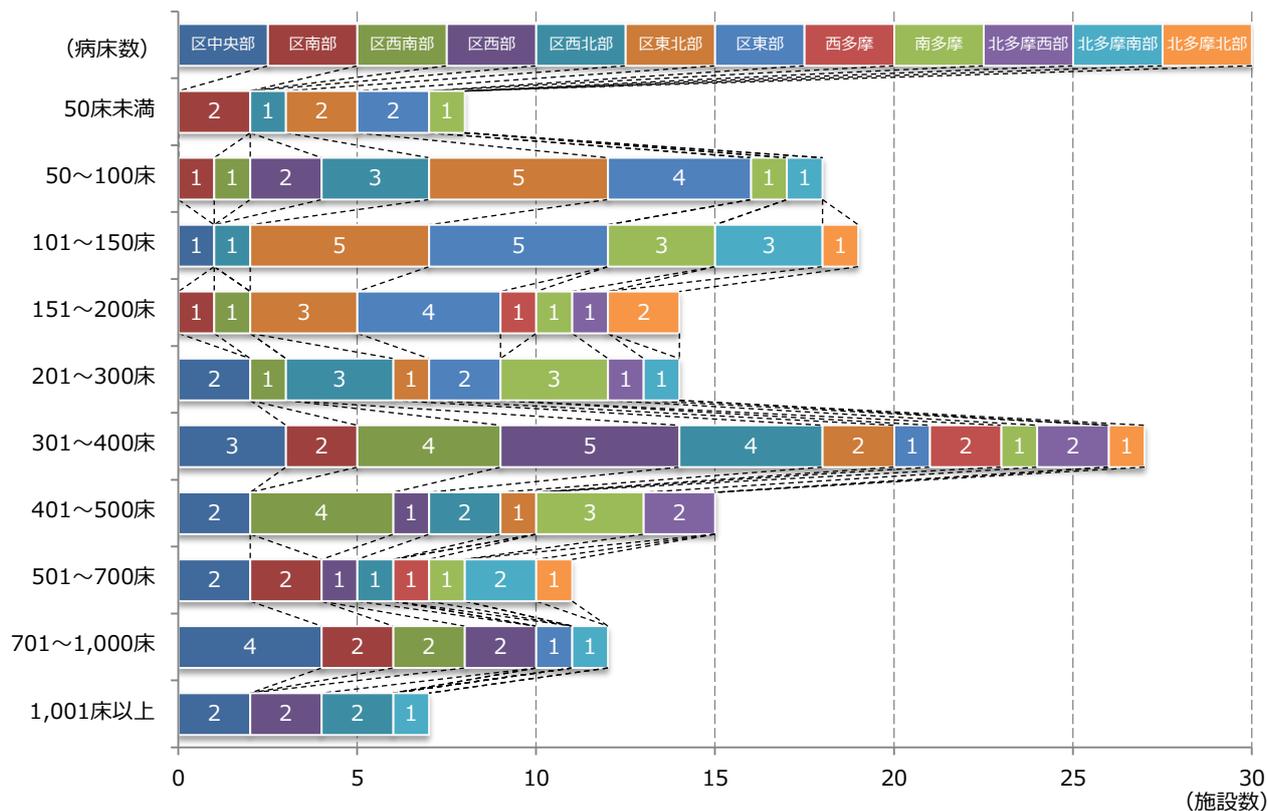
### 【全 体】＜病床数 別 施設数割合＞



【病床数別】 < A・B施設 別 施設数 >

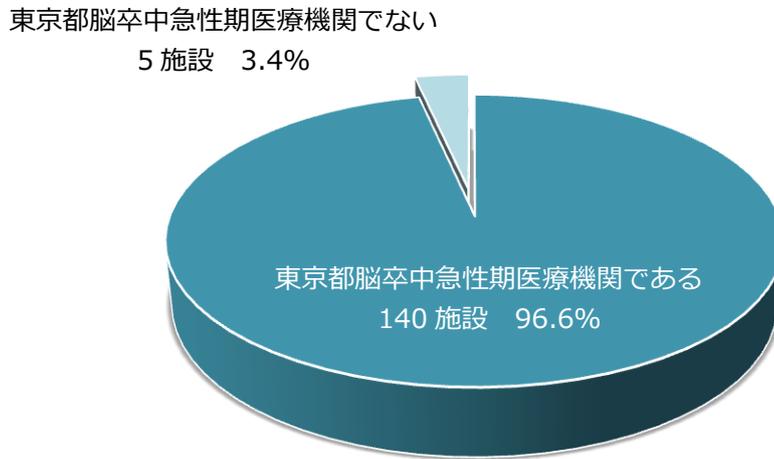


【病床数別】 < 二次医療圏 別 施設数 >

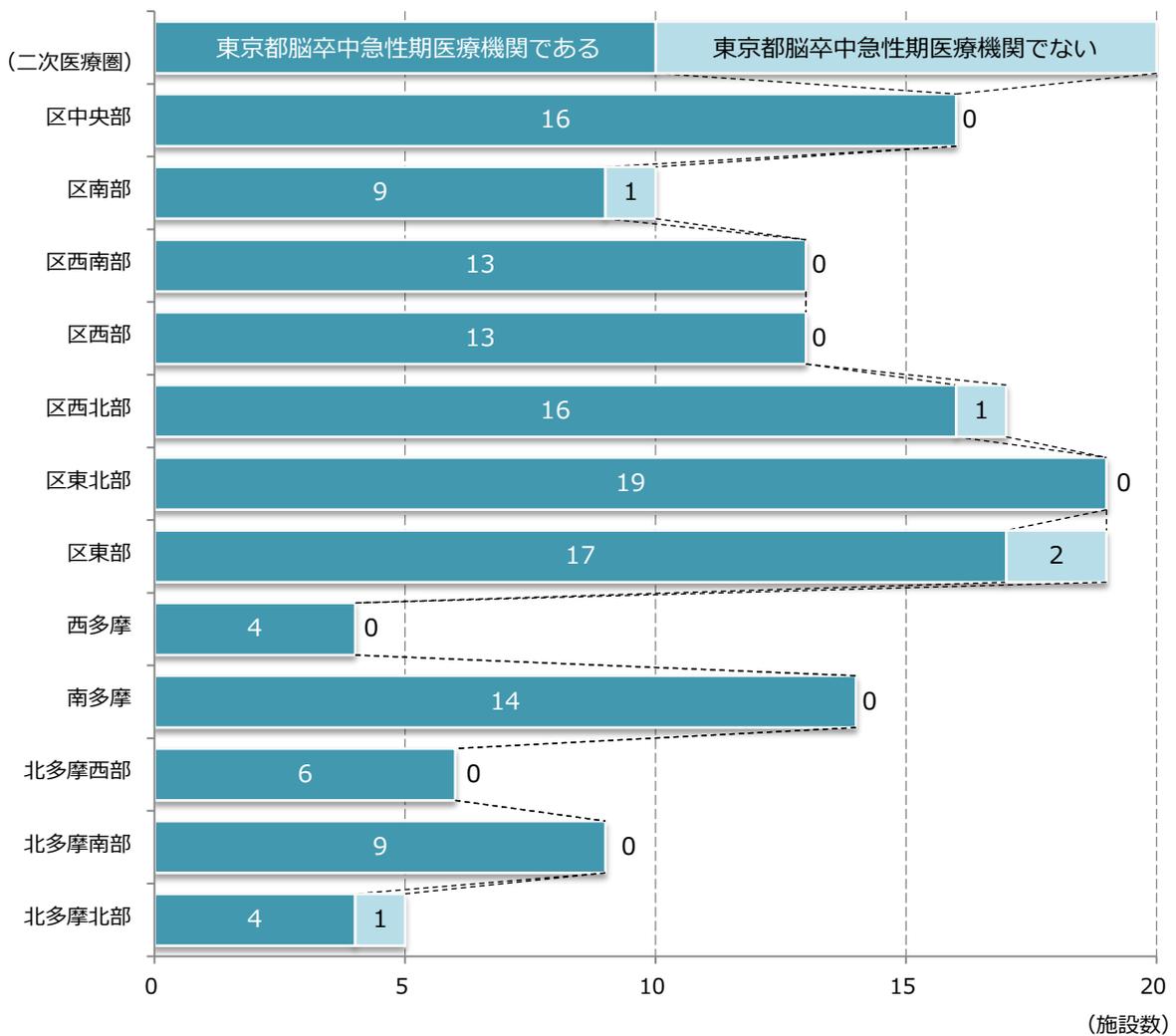


## 2. t-PA の実施可否について

■ 問 1 貴施設は東京都脳卒中急性期医療機関ですか。(単一回答)



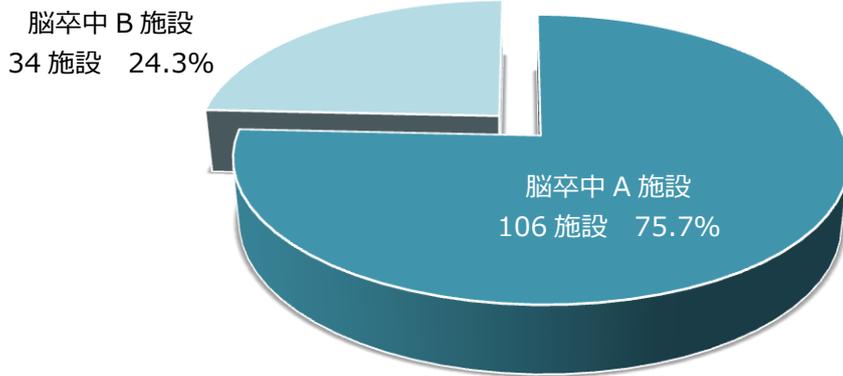
【二次医療圏別】 <東京都脳卒中急性期医療機関であるか否か 別 施設数>



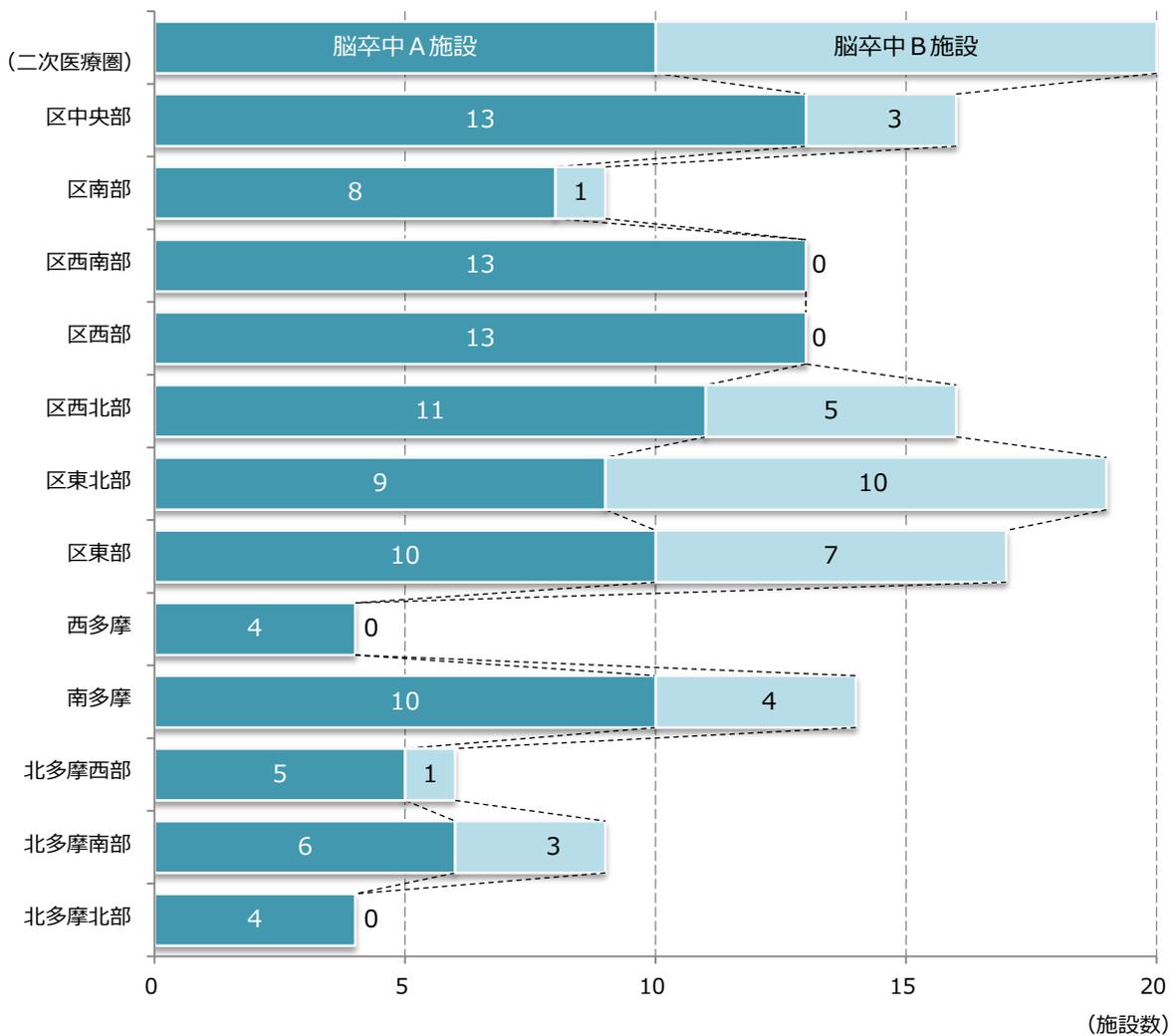
<問 1 で「1. 東京都脳卒中急性期医療機関である」を選ばれた 140 施設について>

■問 1-1 貴施設は脳卒中 A 施設、脳卒中 B 施設のどちらの施設ですか。(単一回答)

※脳卒中 A 施設：脳梗塞の超急性期において適応となる血栓溶解剤 t-PA（組織型プラスミノゲン・アクチペーター）の治療が可能な医療機関。脳卒中 B 施設：脳卒中 A 施設以外の脳卒中急性期医療機関。



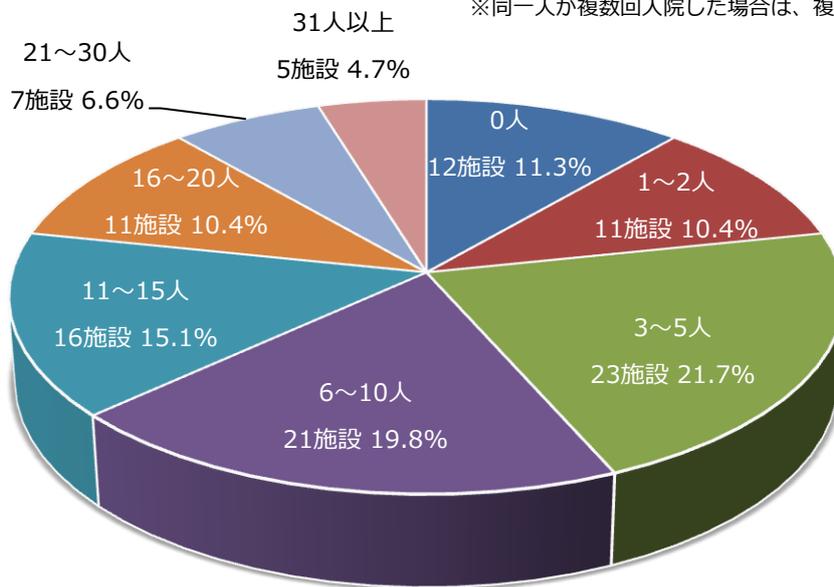
【二次医療圏別】 < A・B 施設 別 施設数 >



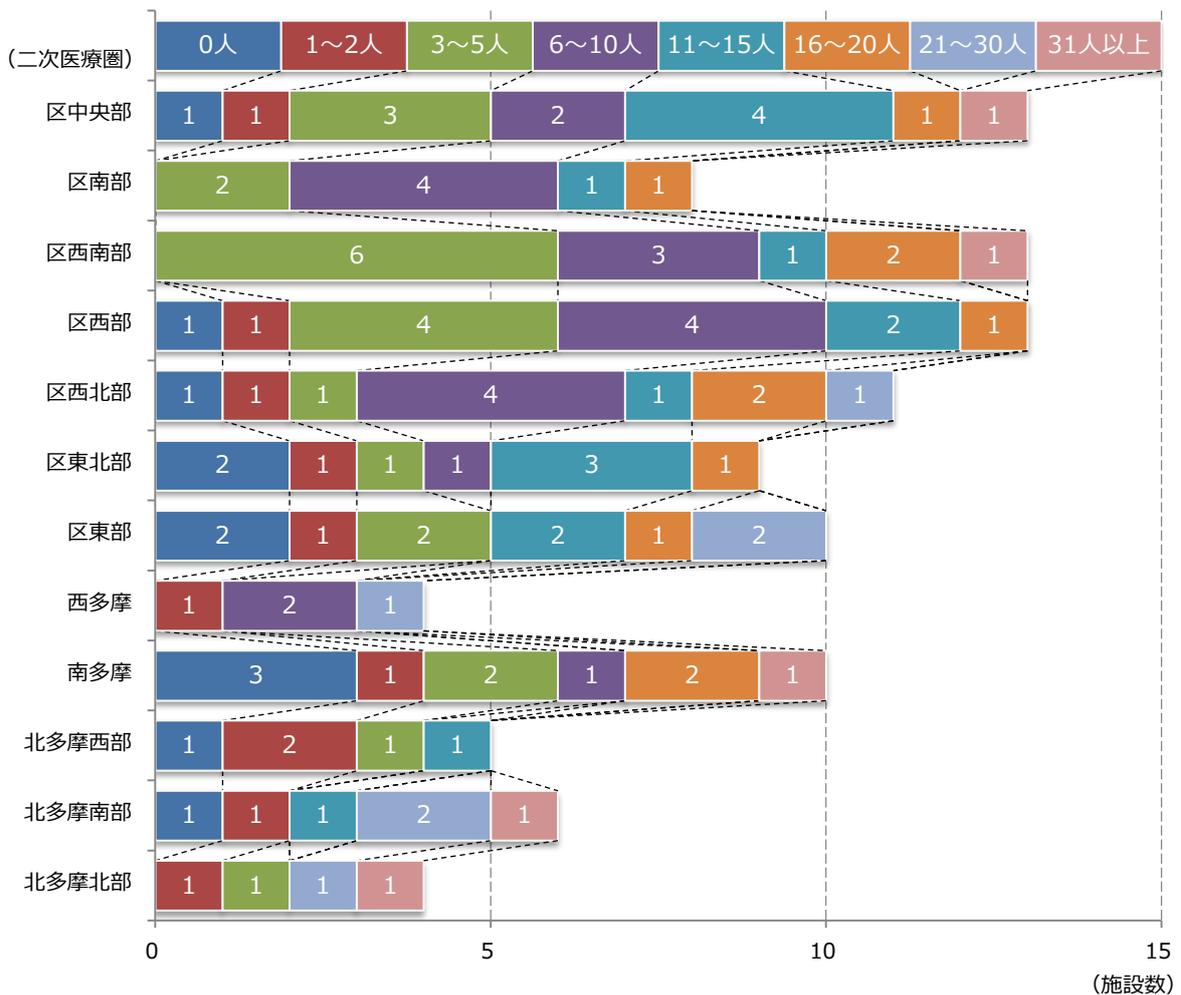
<問 1-1 で「1. 脳卒中 A 施設」を選ばれた 106 施設について>

■問 1-2 平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数を記入してください。

※同一人が複数回入院した場合は、複数人としてカウント。

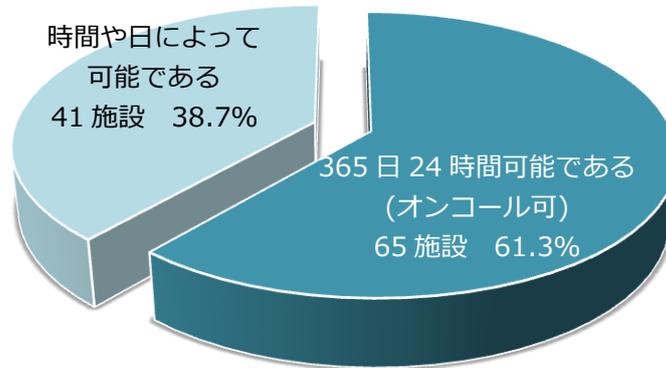


【二次医療圏別】<t-PA 治療実施患者数 別 施設数>

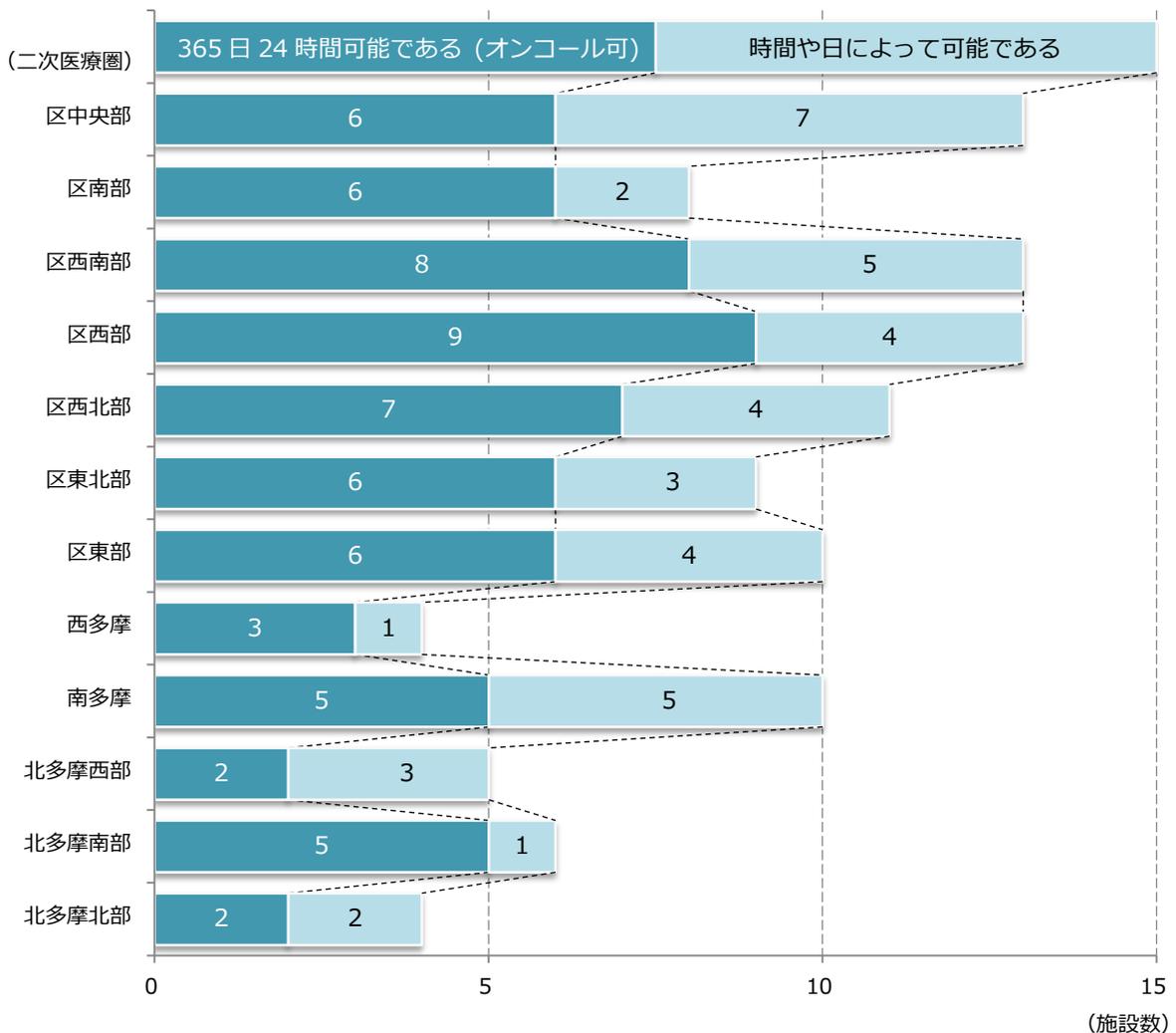


<問 1-1 で「1. 脳卒中 A 施設」を選ばれた 106 施設について>

■問 1-3 t-PA 治療の実施可能状況は下記のうちどちらですか。(単一回答)



【二次医療圏別】<t-PA 治療の実施可能状況 別 施設数>



<問 1-3 で「2. 時間や日によって可能である」を選ばれた 41 施設についての回答内容>

■問 1-4 どの程度実施可能かご記入ください。

t-PA 治療実施可能状況	施設数
平日（月～金曜日）／日中時間帯（8 時間程度）	7
平日（月～金曜日）／時間帯指定および医師当直日や待機時により異なる	2
平日（月～金曜日）・土曜日／日中時間帯（8 時間程度）	3
平日（月～金曜日）・土曜日／日中時間帯（8 時間程度）・土曜日時間帯指定	2
平日（月～金曜日）・土曜日／時間帯指定	6
平日（月～金曜日）・土曜日・日曜日／時間帯指定	2
平日（月～金曜日）・土曜日・日曜日／時間帯指定および医師当直日や待機時により異なる	2
平日（月～金曜日）・土曜日・日曜日／24 時間・日祝日は医師当直日や待機時により異なる	1
平日（1 日のみ）／日中時間帯もしくは時間帯指定	2
平日（曜日・日数限定）／日中時間帯もしくは時間帯指定	13
無回答	1

### 3. 脳卒中診療に関する体制について

■問2 貴施設における急性期脳卒中診療に関わる以下の医師数は何人ですか。

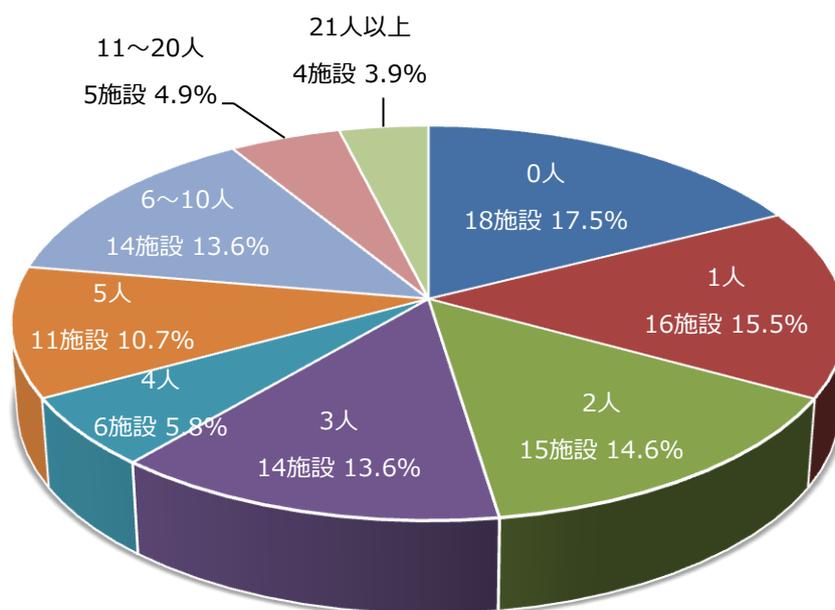
#### 神経内科医

	全 体		内 訳 常 勤		内 訳 非 常 勤	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
0人	18	17.5	33	32.0	66	64.1
1人	16	15.5	13	12.6	11	10.7
2人	15	14.6	10	9.7	11	10.7
3人	14	13.6	16	15.5	5	4.9
4人	6	5.8	5	4.9	2	1.9
5人	11	10.7	9	8.7	3	2.9
6～10人	14	13.6	11	10.7	4	3.9
11～20人	5	4.9	3	2.9	1	1.0
21人以上	4	3.9	3	2.9	0	0.0
計	103	100.0	103	100.0	103	100.0

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は回答145施設から無回答施設を除いた(n=103)に対する値。

【全 体】＜神経内科医数 別 施設数割合＞



■問2 貴施設における急性期脳卒中診療に関わる以下の医師数は何人ですか。

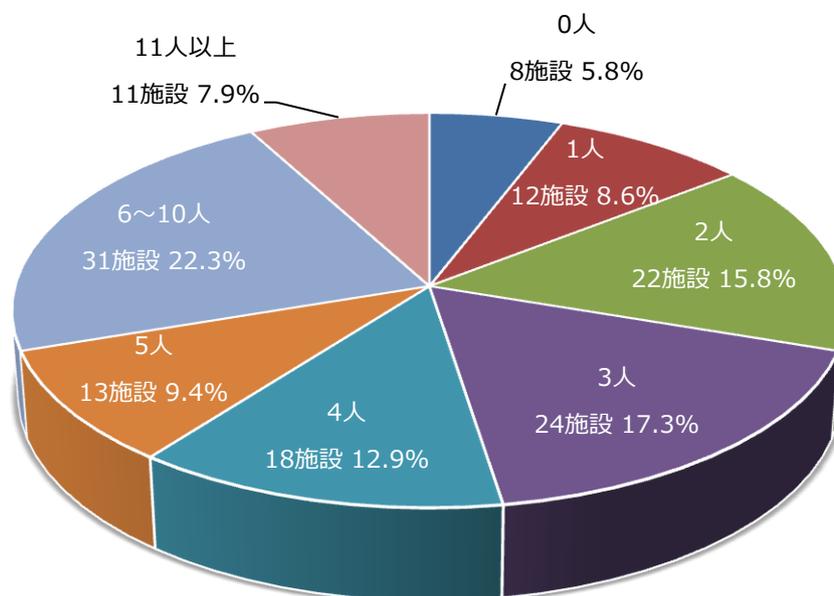
脳神経外科医

	全 体		内 訳 常 勤		内 訳 非 常 勤	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
0人	8	5.8	20	14.4	78	56.1
1人	12	8.6	23	16.5	26	18.7
2人	22	15.8	23	16.5	13	9.4
3人	24	17.3	22	15.8	7	5.0
4人	18	12.9	10	7.2	5	3.6
5人	13	9.4	9	6.5	3	2.2
6～10人	31	22.3	24	17.3	6	4.3
11人以上	11	7.9	8	5.8	1	0.7
計	139	100.0	139	100.0	139	100.0

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は回答145施設から無回答施設を除いた（n=139）に対する値。

【全 体】＜脳神経外科医数 別 施設数割合＞



■問2 貴施設における急性期脳卒中診療に関わる以下の医師数は何人ですか。

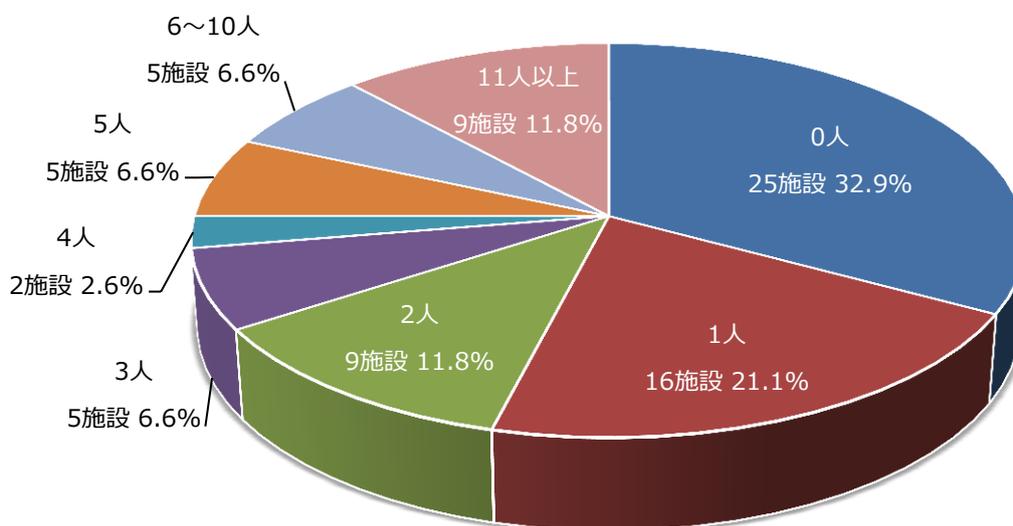
救急医

	全 体		内訳 常 勤		内訳 非常勤	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
0人	25	32.9	27	35.5	59	77.6
1人	16	21.1	17	22.4	3	3.9
2人	9	11.8	14	18.4	2	2.6
3人	5	6.6	3	3.9	0	0.0
4人	2	2.6	2	2.6	5	6.6
5人	5	6.6	3	3.9	2	2.6
6～10人	5	6.6	4	5.3	4	5.3
11人以上	9	11.8	6	7.9	1	1.3
計	76	100.0	76	100.0	76	100.0

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は回答145施設から無回答施設を除いた（n=76）に対する値。

【全 体】＜救急医数 別 施設数割合＞



■問2 貴施設における急性期脳卒中診療に関わる以下の医師数は何人ですか。

その他の科の医師

内 科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	4	7	1
3～5人	8	6	4
6人以上	3	2	0
計	15	15	5

外 科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	4	7	5
3～5人	3	3	0
6人以上	3	0	1
計	10	10	6

脳血管神経科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	2	3	1
3～5人	2	1	0
6人以上	0	0	0
計	4	4	1

循環器科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	1	1	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	1	1	0

整形外科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	1	1	3
3～5人	3	2	0
6人以上	0	0	0
計	4	3	3

放射線科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	1	1	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	1	1	0

リハビリ テーション科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	1	1	1
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	1	1	1

総合診療科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	1	1	0
6人以上	0	0	0
計	1	1	0

高齢診療科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	1	1	0
6人以上	0	0	0
計	1	1	0

その他	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

■問3 前項問2で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医の医師数は何人ですか。

神経内科医

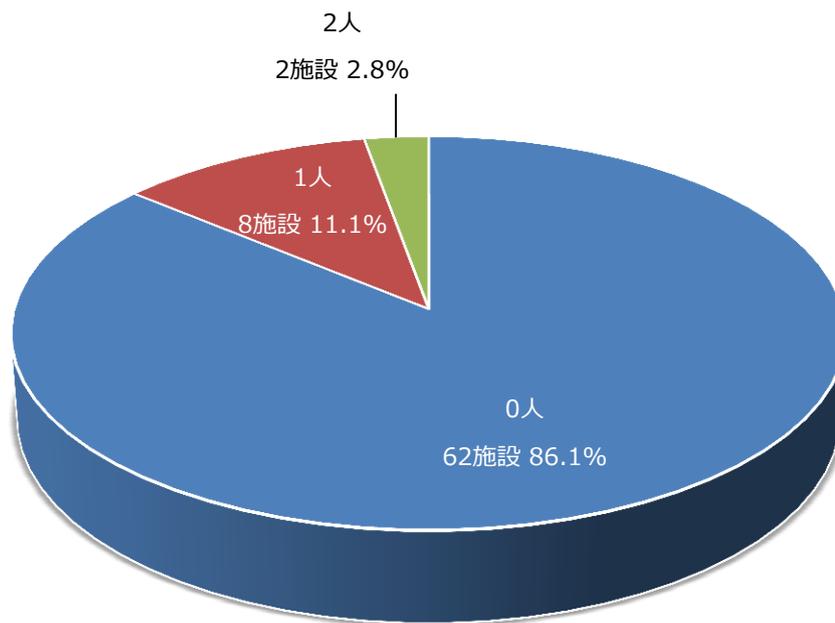
	全 体		内 訳 常 勤		内 訳 非 常 勤	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
0 人	62	86.1	65	90.3	69	95.8
1 人	8	11.1	6	8.3	2	2.8
2 人	2	2.8	1	1.4	1	1.4
計	72	100.0	72	100.0	72	100.0

※脳血管内治療専門医：ここでは日本脳神経血管内治療学会の指導医及び専門医を指すものとする。

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は問2回答103施設から無回答施設を除いた（n=72）に対する値。

【全 体】＜神経内科医数 別 施設数割合＞



■問3 前項問2で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医の医師数は何人ですか。

脳神経外科医

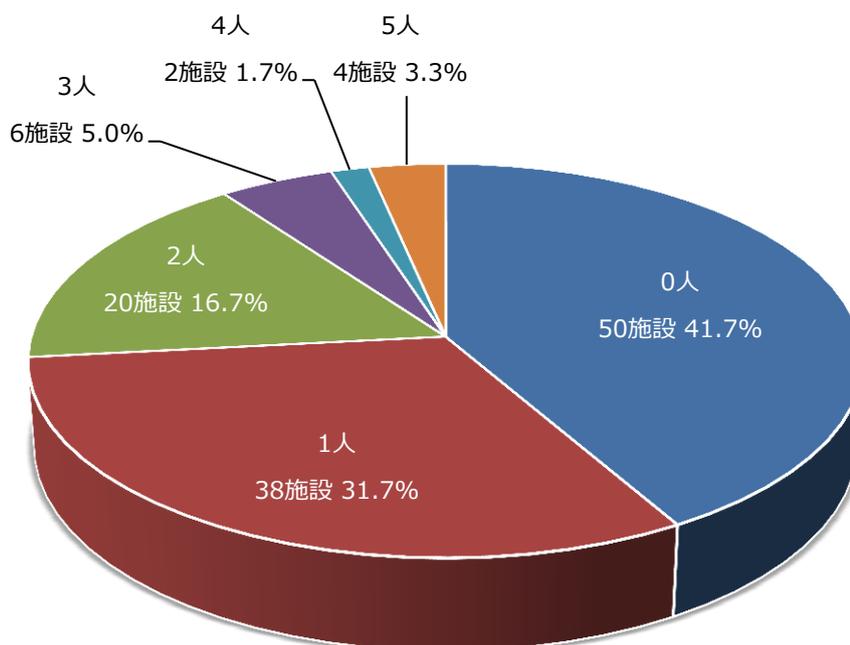
	全 体		内 訳 常 勤		内 訳 非 常 勤	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
0人	50	41.7	67	55.8	94	78.3
1人	38	31.7	32	26.7	18	15.0
2人	20	16.7	11	9.2	7	5.8
3人	6	5.0	6	5.0	1	0.8
4人	2	1.7	3	2.5	0	0.0
5人	4	3.3	1	0.8	0	0.0
計	120	100.0	120	100.0	120	100.0

※脳血管内治療専門医：ここでは日本脳神経血管内治療学会の指導医及び専門医を指すものとする。

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は問2回答139施設から無回答施設を除いた（n=120）に対する値。

【全 体】＜脳神経外科医数 別 施設数割合＞



■問3 前項問2で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医の医師数は何人ですか。

救急医

	全 体	
	施設数	割 合
0人	45	93.8
1人	3	6.2
計	48	100.0

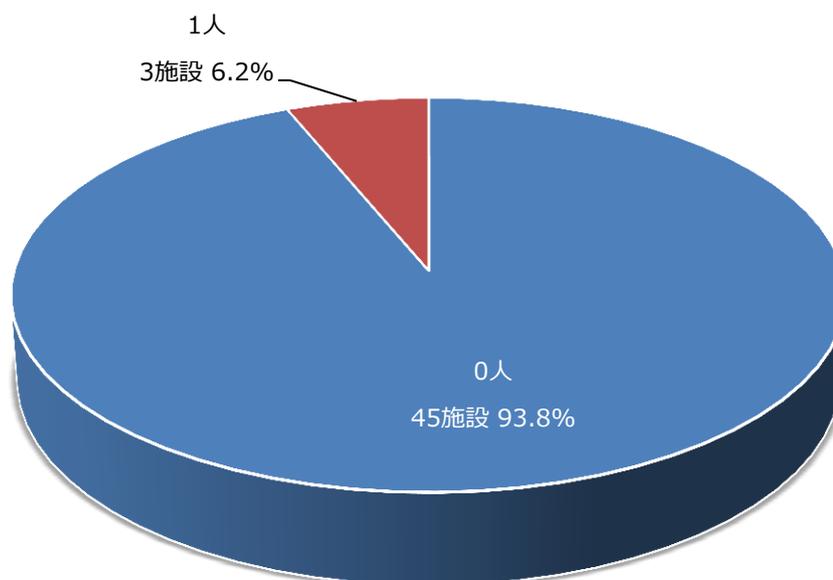
内訳 常 勤		内訳 非常勤	
施設数	割 合	施設数	割 合
45	93.8	48	100.0
3	6.3	0	0.0
48	100.0	48	100.0

※脳血管内治療専門医：ここでは日本脳神経血管内治療学会の指導医及び専門医を指すものとする。

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は問2回答74施設から無回答施設を除いた（n=48）に対する値。

【全 体】＜救急医数 別 施設数割合＞



■問3 前項問2で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医の医師数は何人ですか。

その他の科の医師

内 科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

外 科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

脳血管神経科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	2	2	0
3～5人	1	1	0
6人以上	0	0	0
計	3	3	0

循環器科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

整形外科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

放射線科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	1	1	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	1	1	0

リハビリ テーション科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

総合診療科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

高齢診療科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

その他	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2人	0	0	0
3～5人	0	0	0
6人以上	0	0	0
計	0	0	0

※脳血管内治療専門医：ここでは日本脳神経血管内治療学会の指導医及び専門医を指すものとする。

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

■問4 前々項問2で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医に準じる経験を有する医師の医師数は何人ですか。

神経内科医

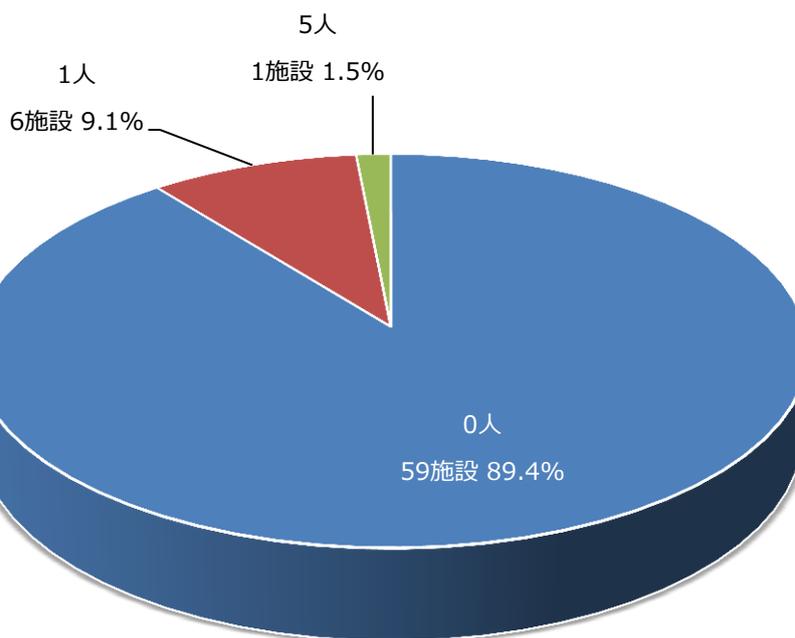
	全 体		内 訳 常 勤		内 訳 非 常 勤	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
0人	59	89.4	60	90.9	64	97.0
1人	6	9.1	6	9.1	1	1.5
5人	1	1.5	0	0.0	1	1.5
計	66	100.0	66	100.0	66	100.0

※脳血管内治療専門医に準ずる経験を有する医師:ここでは、「経皮経管的脳血栓回収用機器 適正使用指針 第2版 2015年4月」に規定されている専門医試験受験資格に相当する経験、すなわち100例の脳血管内治療（うち術者20例、血行再建術15例）の経験を有する医師を指すものとする。

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は問2回答103施設から無回答施設を除いた（n=66）に対する値。

【全 体】<神経内科医数 別 施設数割合>



■問4 前々項問2で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医に準じる経験を有する医師の医師数は何人ですか。

脳神経外科医

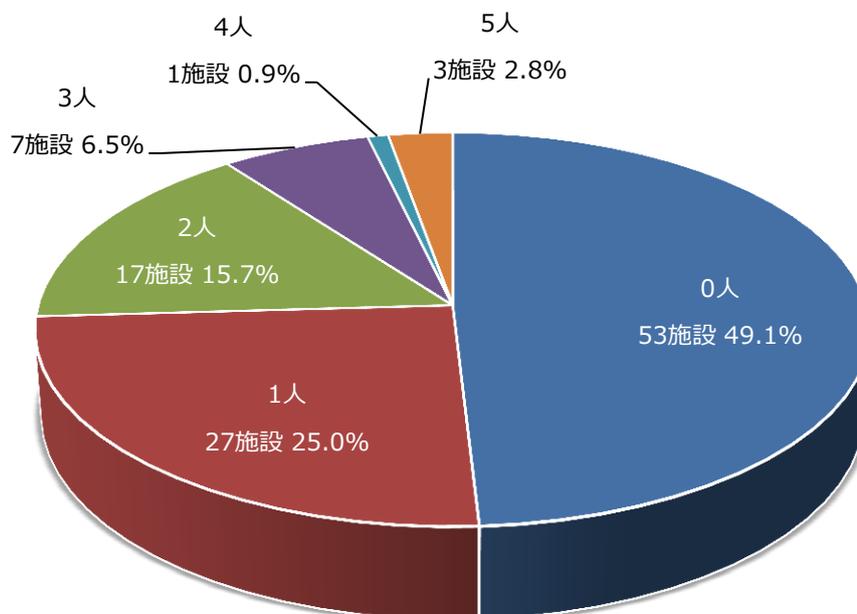
	全 体		内 訳 常 勤		内 訳 非 常 勤	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
0人	53	49.1	62	57.4	95	88.0
1人	27	25.0	23	21.3	9	8.3
2人	17	15.7	15	13.9	2	1.9
3人	7	6.5	5	4.6	2	1.9
4人	1	0.9	1	0.9	0	0.0
5人	3	2.8	2	1.9	0	0.0
計	108	100.0	108	100.0	108	100.0

※脳血管内治療専門医に準じる経験を有する医師：ここでは、「経皮経管的脳血栓回収用機器 適正使用指針 第2版 2015年4月」に規定されている専門医試験受験資格に相当する経験、すなわち100例の脳血管内治療（うち術者20例、血行再建術15例）の経験を有する医師を指すものとする。

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は問2回答139施設から無回答施設を除いた（n=108）に対する値。

【全 体】＜脳神経外科医数 別 施設数割合＞



■問 4 前々項問 2 で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医に準じる経験を有する医師の医師数は何人ですか。

救 急 医

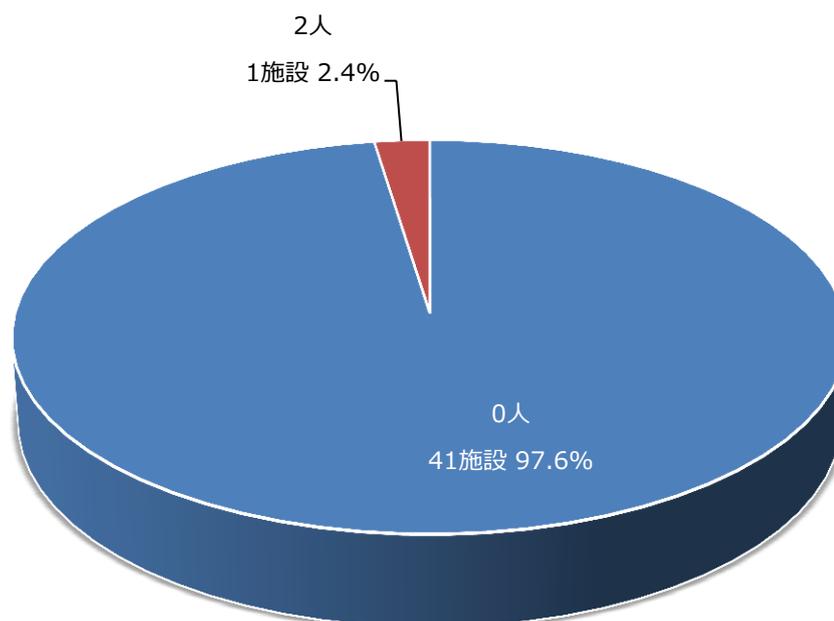
	全 体		内 訳 常 勤		内 訳 非 常 勤	
	施設数	割 合	施設数	割 合	施設数	割 合
0 人	41	97.6	41	97.6	42	100.0
2 人	1	2.4	1	2.4	0	0.0
計	42	100.0	42	100.0	42	100.0

※脳血管内治療専門医に準ずる経験を有する医師:ここでは、「経皮経管的脳血栓回収用機器 適正使用指針 第2版 2015年4月」に規定されている専門医試験受験資格に相当する経験、すなわち100例の脳血管内治療（うち術者20例、血行再建術15例）の経験を有する医師を指すものとする。

※非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

※割合は問2回答74施設から無回答施設を除いた（n=42）に対する値。

【全 体】<救急医数 別 施設数割合>



■問 4 前々項問 2 で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医に準じる経験を有する医師の医師数は何人ですか。

その他の科の医師

内 科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

外 科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

脳血管神経科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	1	1	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	1	1	0

循環器科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

整形外科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

放射線科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

リハビリ テーション科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

総合診療科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

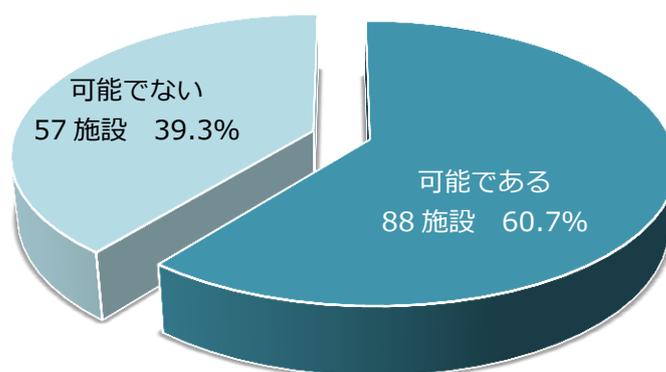
高齢診療科	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

その他	施設数	施設数	
		内訳常勤	内訳非常勤
1～2 人	0	0	0
3～5 人	0	0	0
6 人以上	0	0	0
計	0	0	0

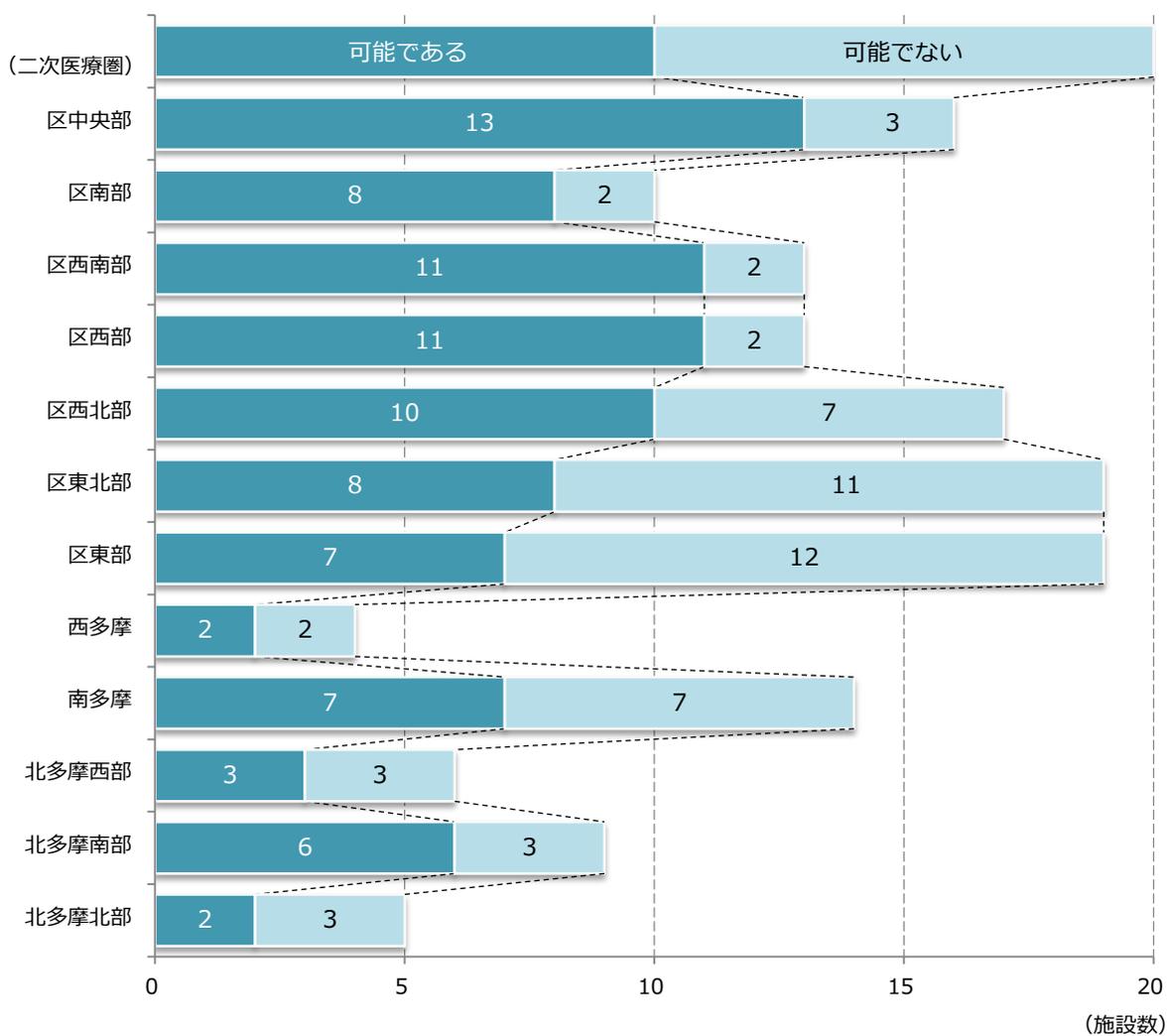
※非常勤とは、常勤でなくても週に 1 回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

#### 4. 脳血管内治療の実施可否について

■問5 貴施設において脳血管内治療は実施可能ですか。(単一回答)



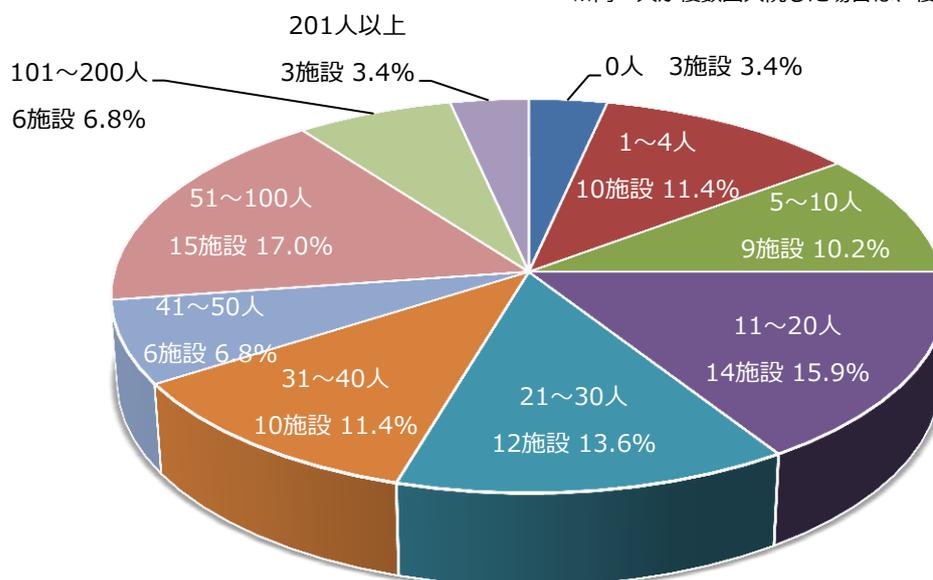
【二次医療圏別】 <脳血管内治療可能・不可 別 施設数>



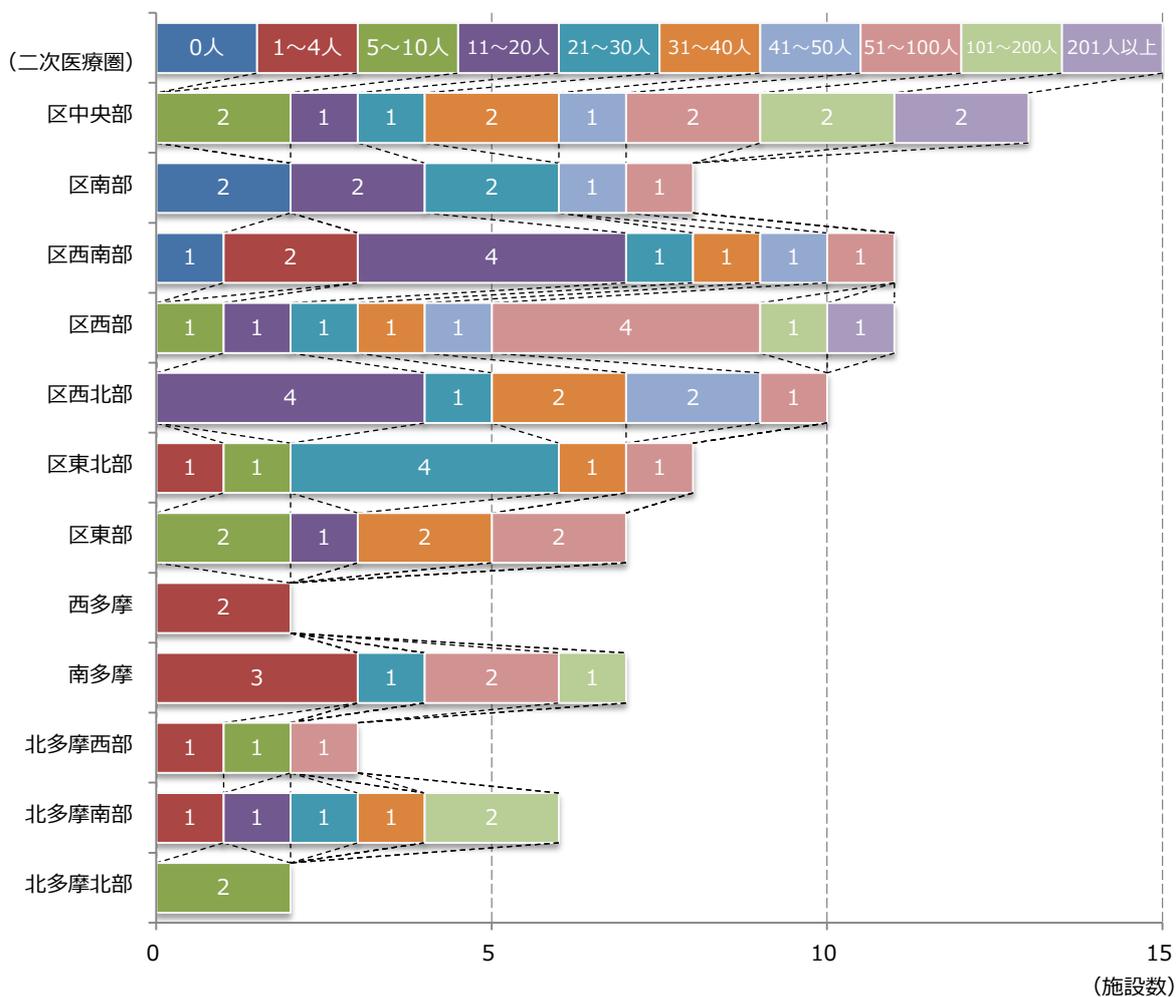
<問5で「1. 可能である」を選ばれた88施設について>

■問5-1 平成27年1月～12月の脳血管内治療を実施した入院患者数を記入してください。

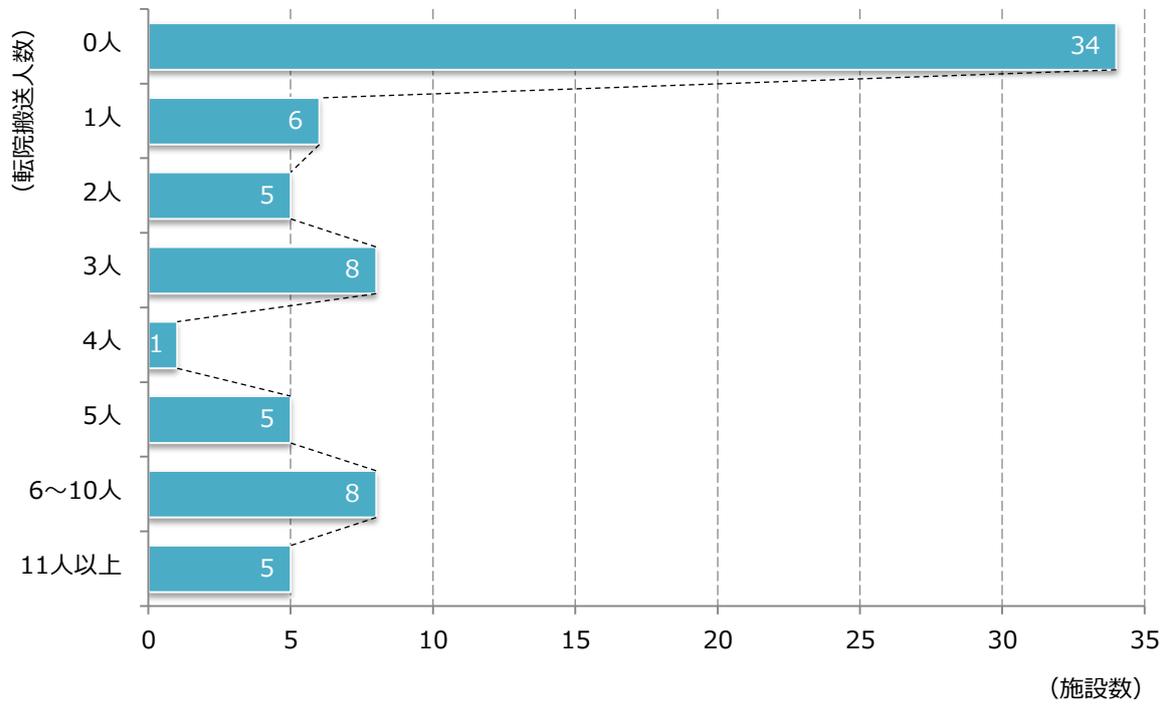
※同一人が複数回入院した場合は、複数人としてカウント。



【二次医療圏別】<脳血管内治療人数 別 施設数>

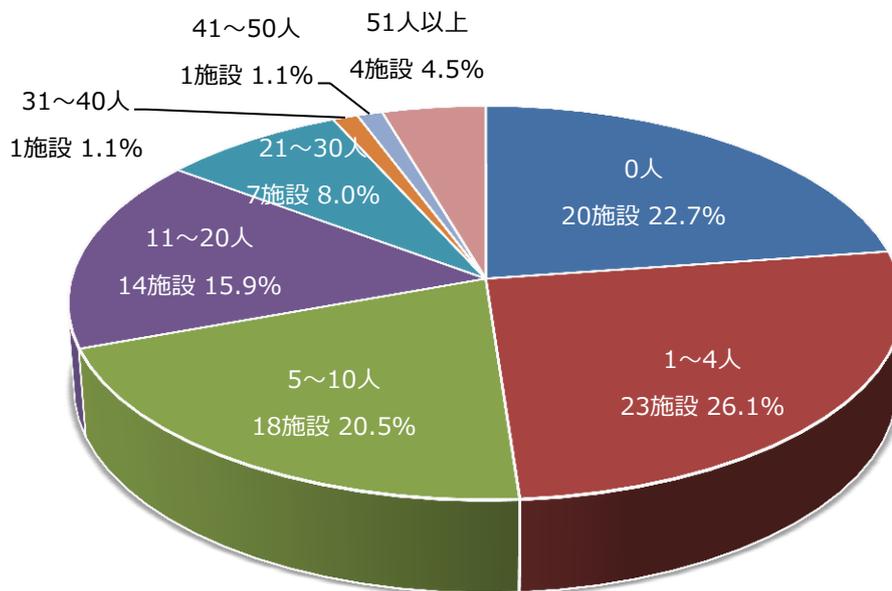


【脳血管内治療実施 転院搬送】 <転院患者数 別 施設数>

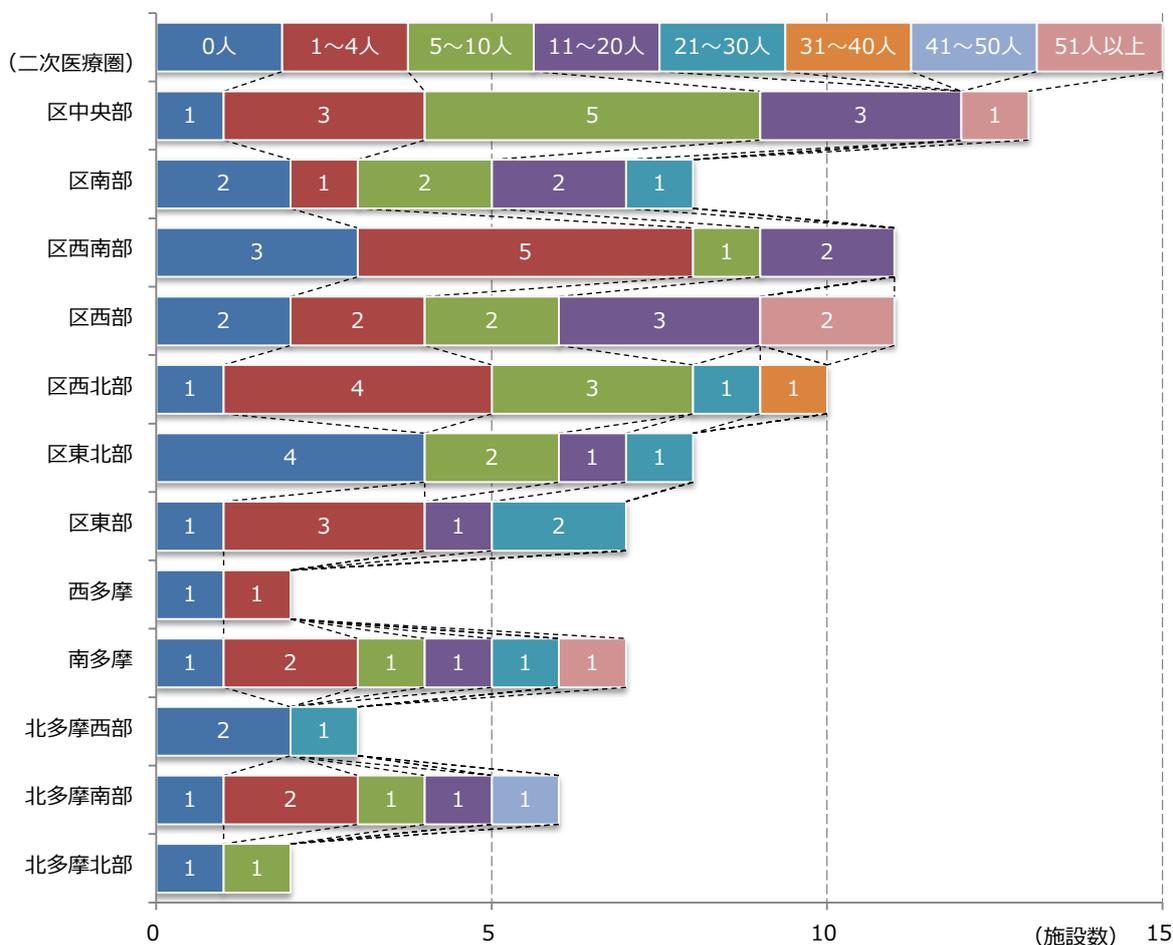


<問5で「1. 可能である」を選ばれた88施設について>

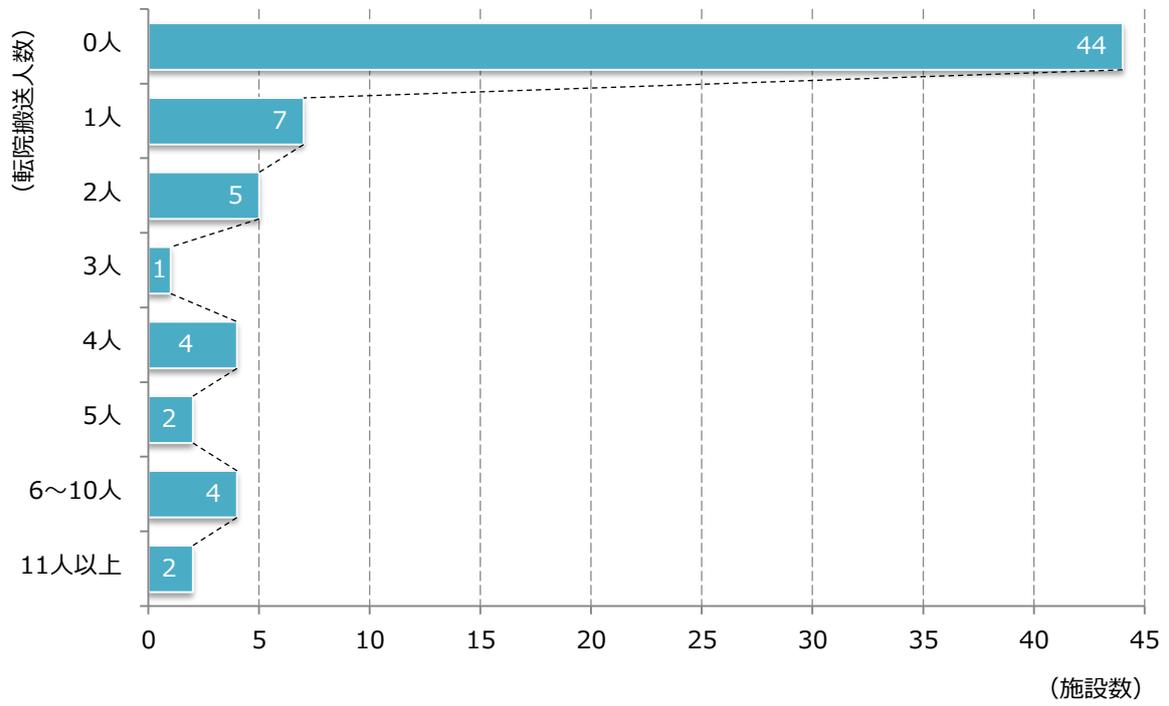
■問5-2 前項問5-1の入院患者数のうち、急性期虚血性脳卒中で脳血管内治療を実施した入院患者数を記入してください。 ※同一人が複数回入院した場合は、複数人としてカウント。



【二次医療圏別】<脳血管内治療人数 別 施設数>

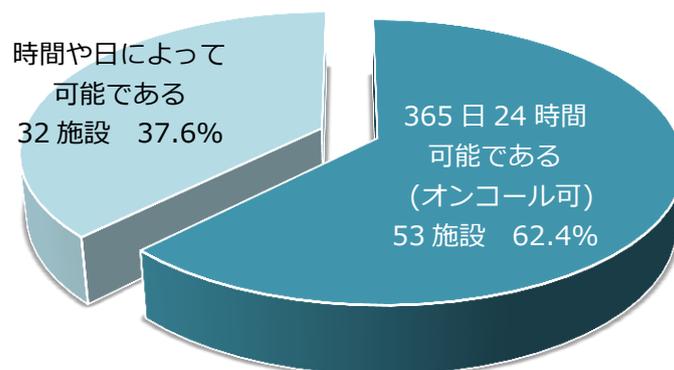


【急性期虚血性脳卒中脳血管内治療実施転院搬送】 <患者数 別 施設数>

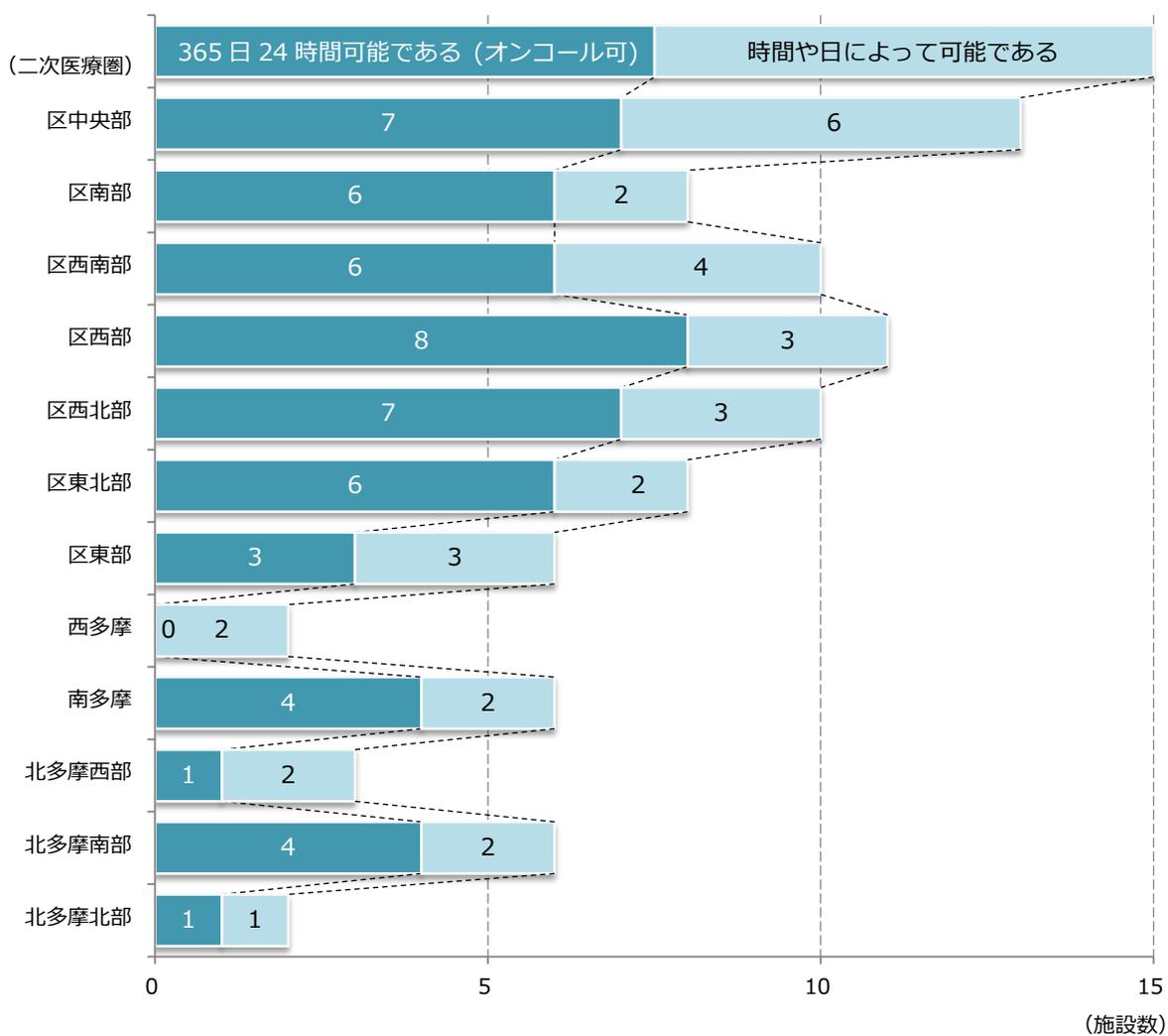


<問5で「1. 可能である」を選ばれた85施設について> ※無回答の3施設を除く。

■問5-3 急性期虚血性脳卒中に対する脳血管内治療の実施可能状況は下記のうちどちらですか。  
(単一回答)



【二次医療圏別】 <急性期虚血性脳卒中に対する脳血管内治療の実施可能状況 別 施設数>



<問 5-3 で「2. 時間や日によって可能である」を選ばれた 32 施設についての回答内容>

■問 5-4 どの程度実施可能かご記入ください。

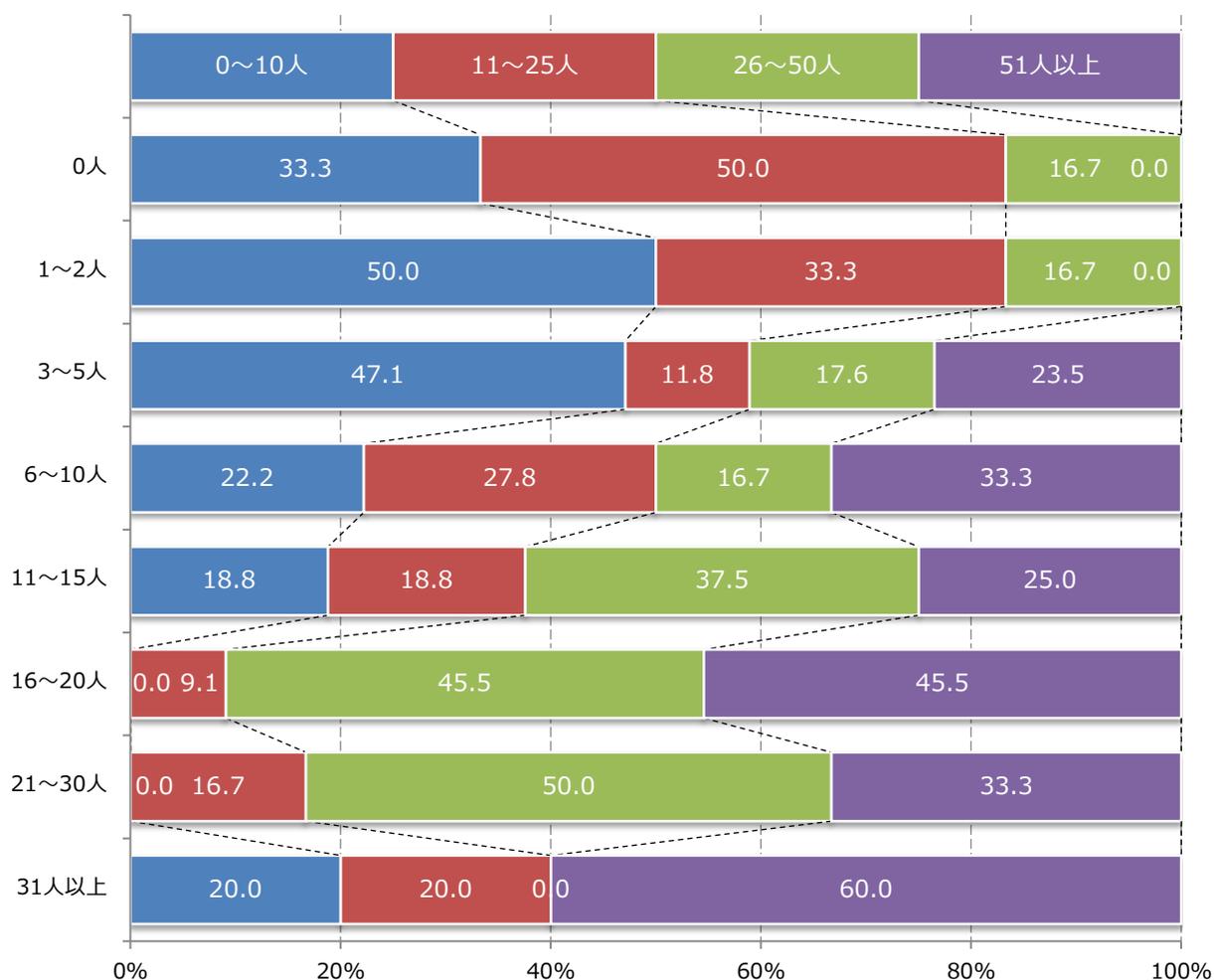
t-PA 治療実施可能状況	施設数
平日（月～金曜日）／日中時間帯（8 時間程度）	1
平日（月～金曜日）・土曜日／日中時間帯（8 時間程度）	5
平日（月～金曜日）・土曜日／24 時間・土曜日時間帯指定	1
平日（月～金曜日）・土曜日／時間帯指定	1
平日（月～金曜日）・土曜日・日曜日／基本 24 時間対応、医師当直日や待機時により異なる	2
平日（1 日のみ）／日中時間帯もしくは時間帯指定	4
平日（曜日・日数限定）／日中時間帯もしくは時間帯指定	11
特に指定なし、状況により判断	3
CAS のみ可能	1
現在おこなっていない	1
無回答	2

クロス集計①t-PA 治療人数 別 脳血管内治療施設数割合

＜「問 1-2 平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数を記入してください」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象＞

■平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数に対する脳血管内治療実施施設数割合

t-PA 治療人数	n	脳血管内治療人数							
		0～10 人		11～25 人		26～50 人		51 人以上	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
0 人	6	2	33.3	3	50.0	1	16.7	0	0.0
1～2 人	6	3	50.0	2	33.3	1	16.7	0	0.0
3～5 人	17	8	47.1	2	11.8	3	17.6	4	23.5
6～10 人	18	4	22.2	5	27.8	3	16.7	6	33.3
11～15 人	16	3	18.8	3	18.8	6	37.5	4	25.0
16～20 人	11	0	0.0	1	9.1	11	45.5	11	45.5
21～30 人	6	0	0.0	1	16.7	3	50.0	2	33.3
31 人以上	5	1	20.0	1	20.0	0	0.0	3	60.0

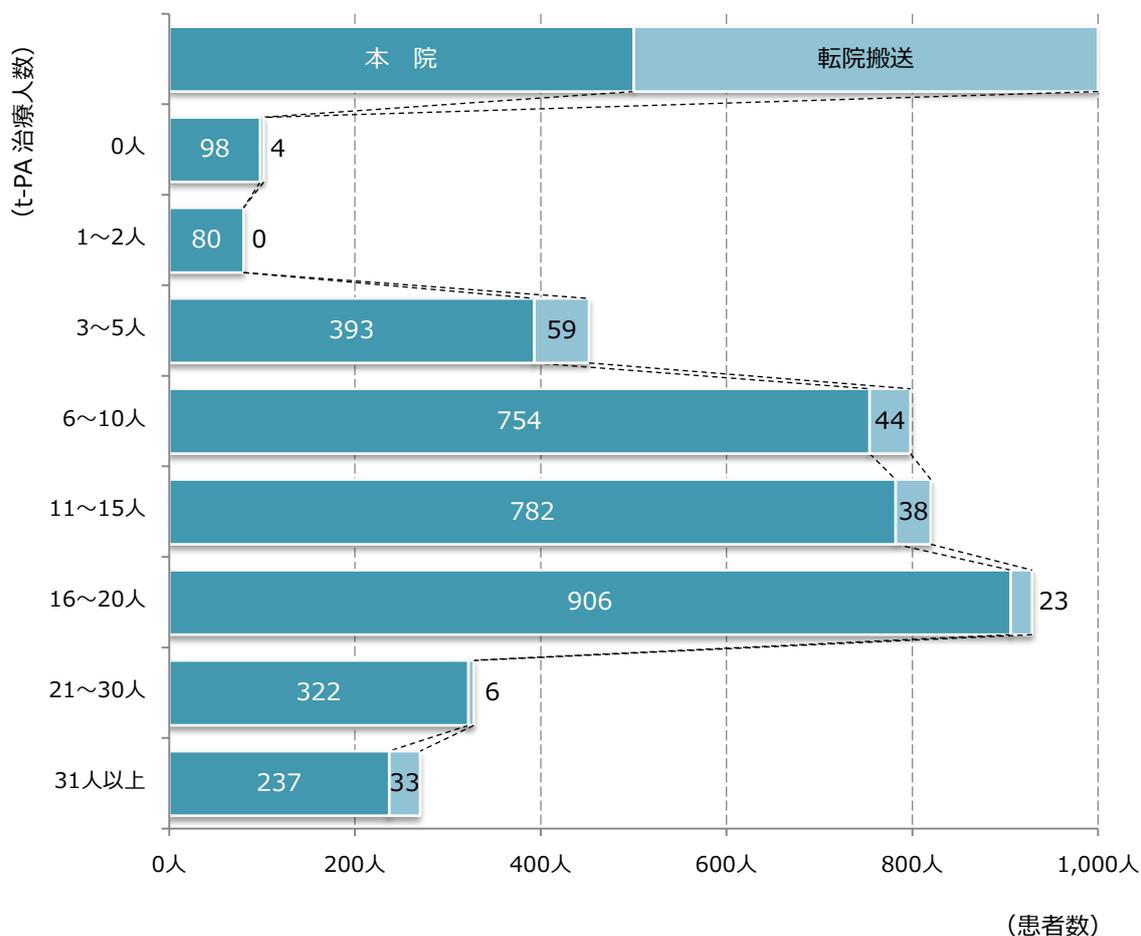


クロス集計②t-PA 治療人数 別 脳血管内治療人数

＜「問 1-2 平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数を記入してください」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象＞

■平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数に対する脳血管内治療患者数

t-PA 治療人数	施設数	脳血管内治療人数					平均患者数	
		本 院		転院搬送		計 患者数 (n)	本院	転院搬送
		患者数	割合	患者数	割合			
0 人	6	98	96.1	4	3.9	102	16.3	0.7
1～2 人	6	80	100.0	0	0.0	80	13.3	0.0
3～5 人	17	393	86.9	59	13.1	452	23.1	3.5
6～10 人	18	754	94.5	44	5.5	798	41.9	2.4
11～15 人	16	782	95.4	38	4.6	820	48.9	2.4
16～20 人	11	906	97.5	23	2.5	929	82.4	2.1
21～30 人	6	322	98.2	6	1.8	328	53.7	1.0
31 人以上	5	237	87.8	33	12.2	270	47.4	6.6

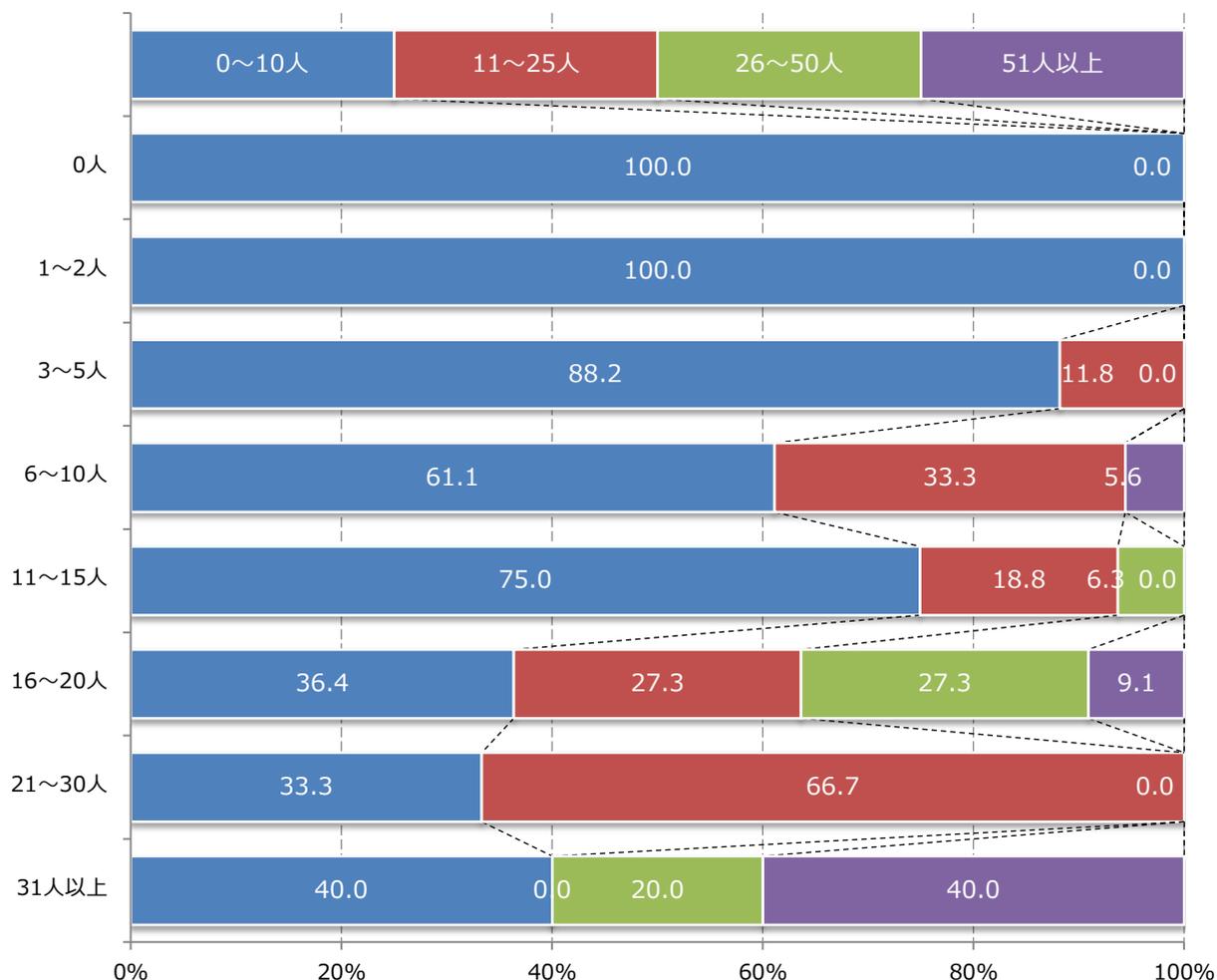


クロス集計③t-PA 治療人数 別 脳血管内治療施設数割合（急性期虚血性脳卒中）

＜「問 1-2 平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数を記入してください」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象＞

■平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数に対する急性期虚血性脳卒中治療実施施設数割合

t-PA 治療人数	n	脳血管内治療人数（急性期虚血性脳卒中）							
		0～10人		11～25人		26～50人		51人以上	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
0人	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1～2人	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3～5人	17	15	88.2	2	11.8	0	0.0	0	0.0
6～10人	18	11	61.1	6	33.3	0	0.0	1	5.6
11～15人	16	12	75.0	3	18.8	1	6.3	0	0.0
16～20人	11	4	36.4	3	27.3	3	27.3	1	9.1
21～30人	6	2	33.3	4	66.7	0	0.0	0	0.0
31人以上	5	2	40.0	0	0.0	1	20.0	2	40.0

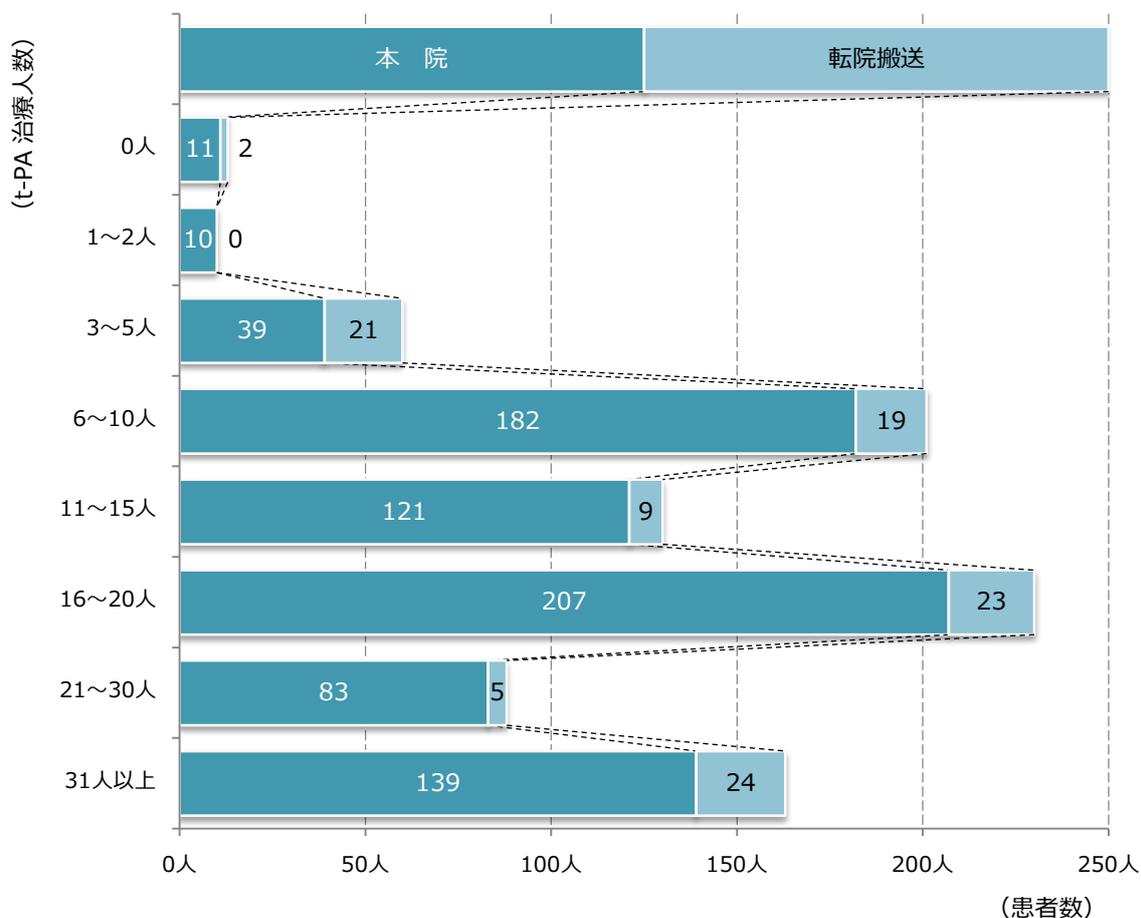


クロス集計④t-PA 治療人数 別 脳血管内治療人数（急性期虚血性脳卒中）

＜「問 1-2 平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数を記入してください」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象＞

■平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数に対する急性期虚血性脳卒中治療患者数

t-PA 治療人数	施設数	脳血管内治療人数（急性期虚血性脳卒中）					平均患者数	
		本 院		転院搬送		計 患者数 (n)	本院	転院搬送
		患者数	割合	患者数	割合			
0 人	6	11	84.6	2	15.4	13	1.8	0.3
1～2 人	6	10	100.0	0	0.0	10	1.7	0.0
3～5 人	17	39	65.0	21	35.0	60	2.3	1.2
6～10 人	18	182	90.5	19	9.5	201	10.1	1.1
11～15 人	16	121	93.1	9	6.9	130	7.6	0.6
16～20 人	11	207	90.0	23	10.0	230	18.8	2.1
21～30 人	6	83	94.3	5	5.7	88	13.8	0.8
31 人以上	5	139	85.3	24	14.7	163	27.8	4.8



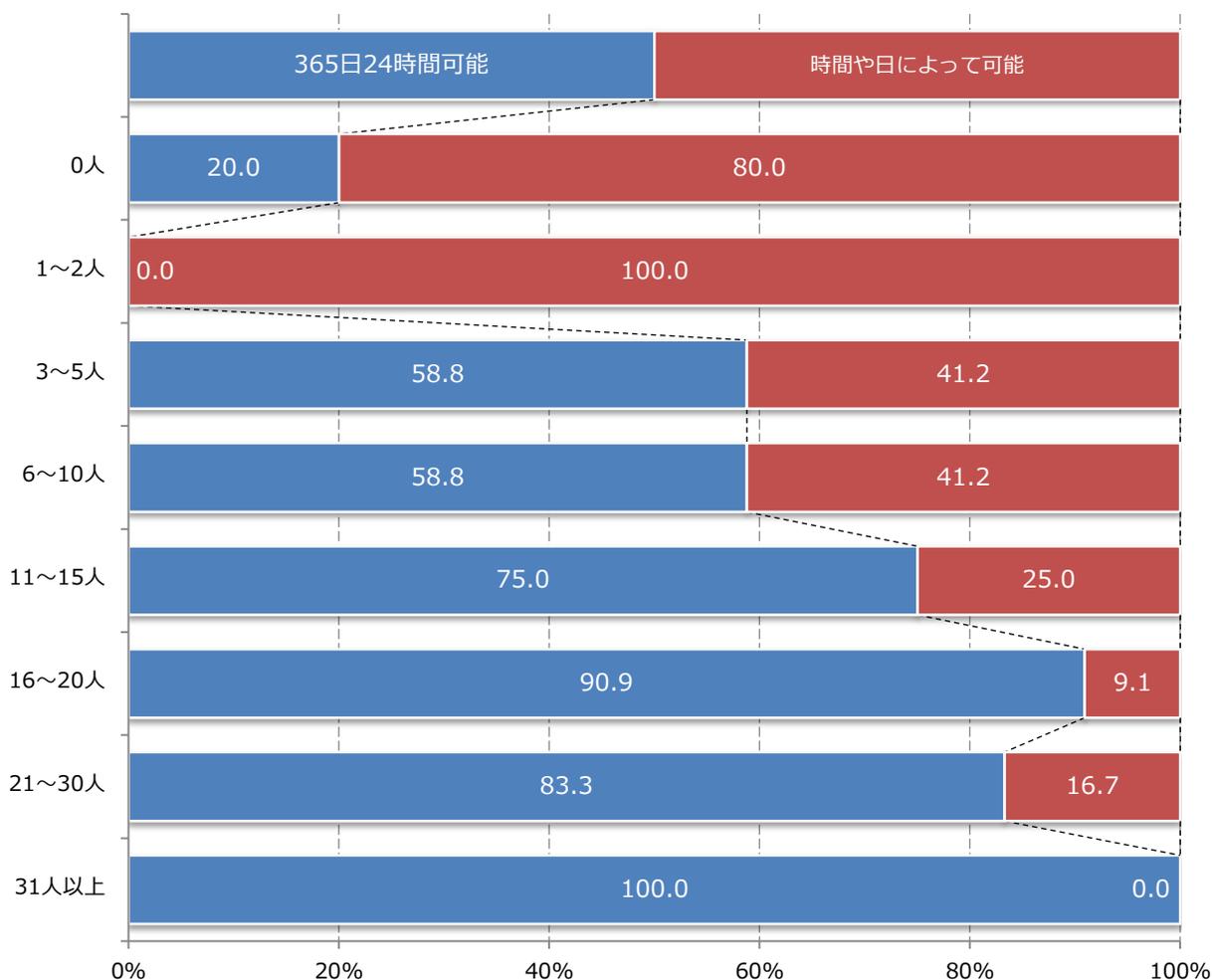
クロス集計⑤t-PA 治療人数 別 脳血管内治療実施可能状況（急性期虚血性脳卒中）

＜「問 1-2 平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数を記入してください」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象＞

■平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数に対する急性期虚血性脳卒中治療実施可能状況施設数割合

t-PA 治療人数	n	実施可能状況（急性期虚血性脳卒中）			
		365 日 24 時間可能である （オンコール可）		時間や日によって 可能である	
		施設数	割合	施設数	割合
0 人	5	1	20.0	4	80.0
1～2 人	6	0	0.0	6	100.0
3～5 人	17	10	58.8	7	41.2
6～10 人	17	10	58.8	7	41.2
11～15 人	16	12	75.0	4	25.0
16～20 人	11	10	90.9	1	9.1
21～30 人	6	5	83.3	1	16.7
31 人以上	5	5	100.0	0	0.0

※無回答 2 施設は除く。

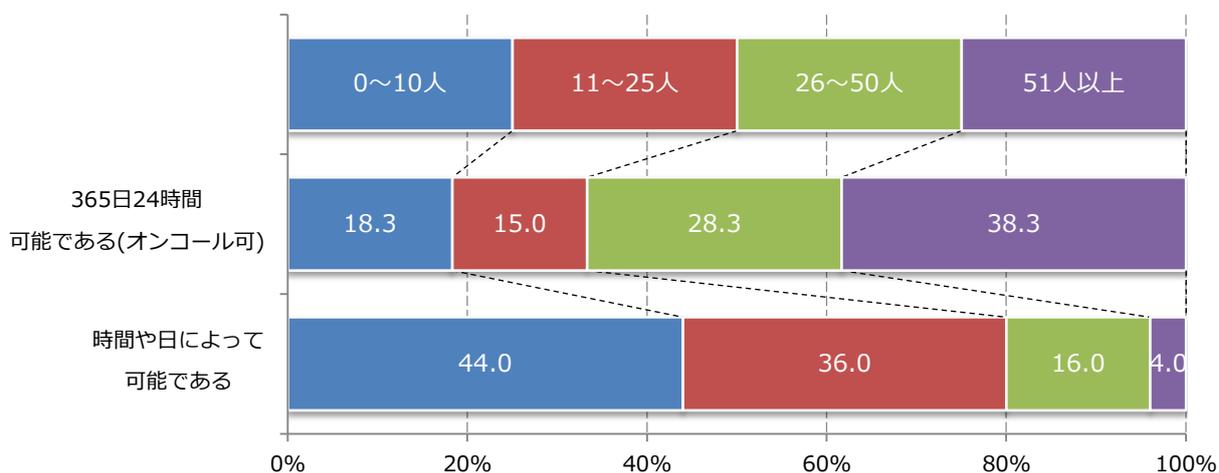


クロス集計⑥t-PA 治療実施状況 別 脳血管内治療施設数割合

<「問 1-3 t-PA 治療の実施状況」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象>

■t-PA 治療の実施状況に対する脳血管内治療実施施設数割合

t-PA 実施状況	n	脳血管内治療人数							
		0～10人		11～25人		26～50人		51人以上	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
365日24時間可能である(オンコール可)	60	11	18.3	9	15.0	17	28.3	23	38.3
時間や日によって可能である	25	11	44.0	9	36.0	4	16.0	1	4.0

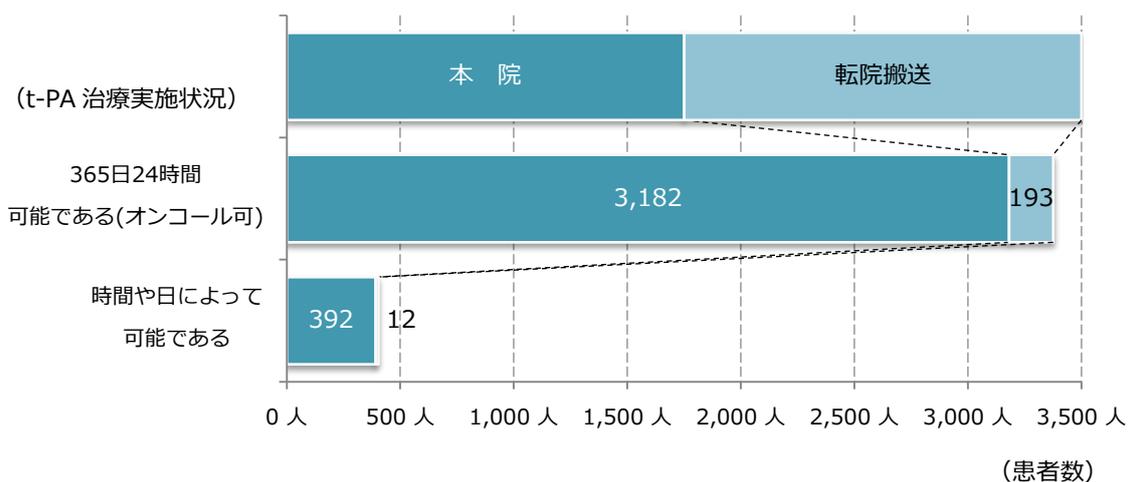


クロス集計⑦t-PA 治療実施状況 別 脳血管内治療人数

<「問 1-3 t-PA 治療の実施状況」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象>

■t-PA 治療の実施状況に対する脳血管内治療患者数

t-PA 実施状況	施設数	脳血管内治療人数					平均患者数	
		本 院		転院搬送		計 患者数 (n)	本院	転院搬送
		患者数	割合	患者数	割合			
365日24時間 可能である(オンコール可)	60	3,182	94.3	193	5.7	3,375	53.0	3.2
時間や日によって 可能である	25	392	97.0	12	3.0	404	15.7	0.5

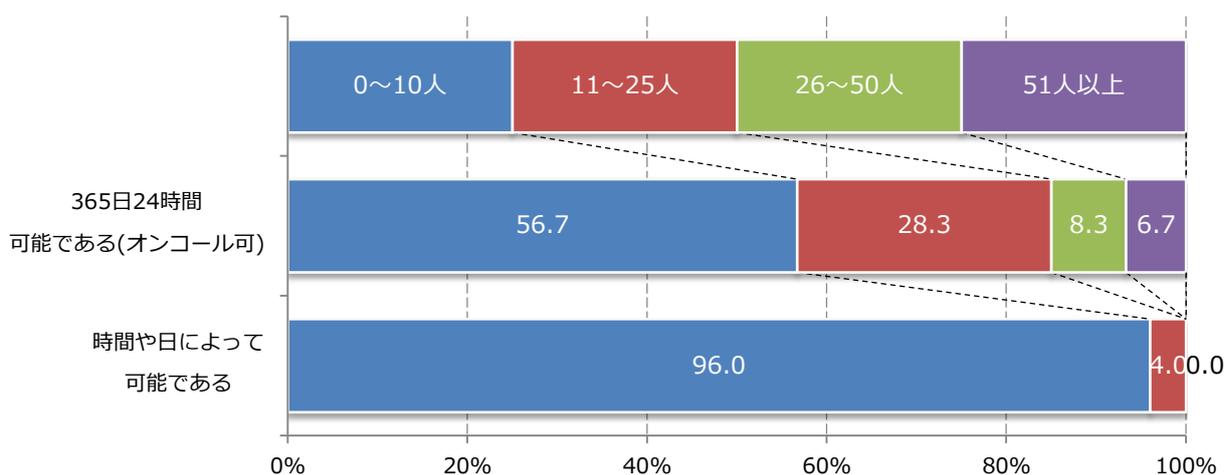


クロス集計⑧t-PA 治療実施状況 別 脳血管内治療施設数割合（急性期虚血性脳卒中）

<「問 1-3 t-PA 治療の実施状況」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象>

■ t-PA 治療の実施状況に対する急性期虚血性脳卒中治療実施可能状況施設数割合

t-PA 実施状況	n	脳血管内治療人数（急性期虚血性脳卒中）							
		0～10人		11～25人		26～50人		51人以上	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
365日24時間可能である(オンコール可)	60	34	56.7	17	28.3	5	8.3	4	6.7
時間や日によって可能である	25	24	96.0	1	4.0	0	0.0	0	0.0

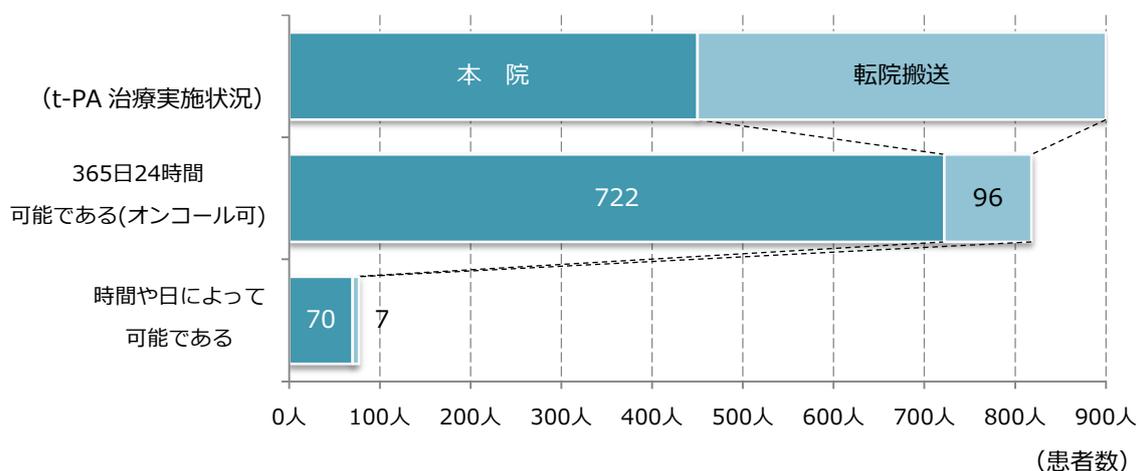


クロス集計⑨t-PA 治療実施状況 別 脳血管内治療人数（急性期虚血性脳卒中）

<「問 1-3 t-PA 治療の実施状況」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象>

■t-PA 治療の実施状況に対する急性期虚血性脳卒中脳血管内治療患者数

t-PA 実施状況	施設数	脳血管内治療人数（急性期虚血性脳卒中）					平均患者数	
		本 院		転院搬送		計 患者数 (n)	本院	転院搬送
		患者数	割合	患者数	割合			
365日24時間 可能である(オンコール可)	60	722	88.3	96	11.7	818	12.0	1.6
時間や日によって 可能である	25	70	90.9	7	9.1	77	2.8	0.3



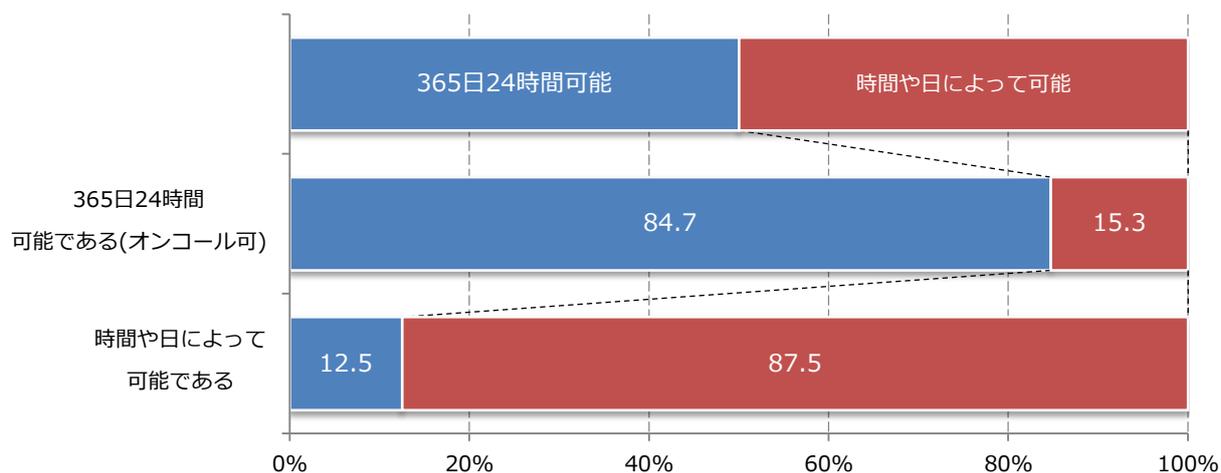
クロス集計⑩t-PA 治療実施状況 別 脳血管内治療実施可能状況（急性期虚血性脳卒中）

<「問 1-3 t-PA 治療の実施状況」において回答のあった施設で、かつ「問 5 脳血管内治療が実施可能」と回答された 85 施設を対象>

■ t-PA 治療の実施状況に対する急性期虚血性脳卒中治療実施可能状況施設数割合

t-PA 実施状況	n	実施可能状況（急性期虚血性脳卒中）			
		365日24時間可能である （オンコール可）		時間や日によって 可能である	
		施設数	割合	施設数	割合
365日24時間可能である（オンコール可）	59	50	84.7	9	15.3
時間や日によって可能である	24	3	12.5	21	87.5

※無回答 2 施設は除く。



## 5. 自由意見

- 東京都では現在、現行の東京都脳卒中急性期医療機関の仕組みに加えて、脳血管内治療の医療連携体制を整える仕組みを検討しています。こういった検討に関して、ご自由にご意見を記入してください。（※具体的な施設名は伏せさせていただいております。）

A施設
当院では外部から脳血管内治療専門医を招いて治療を行っている。
血管内治療が行える施設の把握と、それを見据えた救急搬送体制が必要。治療ができる医師ばかりでなく、血管撮影装置や血管内治療を行う際のスタッフの問題もあり、地域内で柔軟な体制が必要と考えます。
当院の脳血管内治療医は〇〇〇〇の連携施設および関連施設での緊急症例に対して出張の上治療を行っています。平成 27 年は約 350 件の脳血管内治療を他施設で行い、そのうち約 40 件が急性期虚血性脳卒中に対する治療でした。尚、出張治療のスタイルは 2003 年頃より導入し各施設においても確立されています。
来院より治療（血管内治療）開始までの時間が短い施設に搬送するべきで、そのための仕組みを構築するのが望ましいと考えられます。
脳卒中 A、脳卒中 B とは別に、緊急血管内治療が可能な施設のカテゴリーを作り、超急性期患者を搬送するようにした方が良く考えます。
急性期脳卒中患者は最初に脳血管内治療学会専門医の駐在する病院に優先的に搬送すべきである。そして t-PA・血管内治療・開頭手術の適応にならない（保存的加療の）患者を速やかに他の病院に転送できるよう、効率のよい脳卒中医療体制を構築して頂きたい。
Drip & Ship などに際して、搬送側にも受け入れ側にも、何らかのインセンティブがつかると良いと思います。（脳卒中パスの加算のような）また教育的観点から搬送に付き添う医師がそのまま受け入れ先でスクラブインできる仕組みなども良いと思います。
心房細動に伴った脳塞栓症の治療（血管内外科）は、時間との戦いであり、搬送そして院内到着後の診断、再開通までの時間がその予後を大きく左右します。院内到着後から再開通までの時間を施設ごとに出してもらう必要があると思います。
現在、区西南部は Drip & Ship の体制を取っております。東京都全体でもこのような医療連携が構築されるとよいと考えます。
急性期脳卒中に対するカテーテル治療（血栓回収など）は、一定のトレーニングを行えば非専門医でも出来るようにすることが重要。
当地区では〇〇〇〇を中心に血管内治療ネットワークが作られています。
区西南部地区では輪番制を検討・実施しております。
当院は区西南部の二次医療圏に属しておりますが、この地域では脳卒中急性期医療機関の間で t-PA 投与後に脳血管内治療が必要な場合、連携して患者を搬送するいわゆる Drip & Ship を行っております。このようなシステムが有効に働き地域医療のために発展していくことを願っております。
専門医及びこれに準ずる 4 名の血管内治療医で 365 日カバーしているが、搬送件数は少なく効率が悪いと言わざるを得ない。複数の病院で当番制を敷き、当番日に人的資源を集中させる方が有効な医療ができ、かつ医師の疲弊が少ないと考えている。

<p>当院は救急車が年間1万2千台と東京都で最も多い受け入れがあり、そのため脳卒中患者数も多く、脳卒中に対応するための当直医を2名体制（神経当直医とSCU当直医）で行っています。さらに経皮的血栓回収術時には当直医の他に3~4名の脳神経外科医がコールから10分で病院に到着する体制をとっております。当院では現在Door to punctureは60分、再開通までの時間は来院から90分~120分です。この体制は脳卒中に係わる医師の努力に依存しておりますが、是非ともこういった努力が報われる制度をご検討ください。</p>
<p>脳血管内治療を実施可能な施設との連携を密にしたい。また、是非医療連携体制を構築して頂きたい。(t-PA治療は可能だが、脳血管内治療が不可能な当院のため)</p>
<p>急性期虚血性脳卒中に対するエビデンスが出揃い今後はt-PA治療に加えて脳血管内治療を急性期におこなう必要がある時代になりました。できるだけ早期に必要な治療が施行可能な施設へ患者さんを搬送する体制作りが急務であると考えます。</p>
<p>当院では、急性期虚血性脳卒中での脳血管内治療は行っておりません。動脈瘤、AUM等のコイリング術、内頸動脈狭窄に対するCASは行っております。基本的に常勤は非血管内治療専門医で2名しかおらず、救急対応困難なことがあります。</p>
<p>CCUネットワークと同じ様なシステムが必要と考えます。</p>
<p>急性期血管内治療を実施している施設であるため、特に血管回収療法に関してはスタートの段階から対応可能な施設への搬送が望ましいため、周辺地域からの搬入を増やして欲しい。</p>
<p>現在の手上げ方式は施設の選定基準が曖昧で各施設の判断となっているため、実際には基準を十分に満たしていない施設でも受け入れを行って施設があります。血管内治療で同様の事が生じると実際には充分治療が出来ない術者でも受け入れる施設が生まれ、t-PA以上に患者の不利益を被るものと思います。血管内治療への参入には手上げではなく一定のルールを設ける、循環器の様に時間についての要件を設けて報酬加算するなど、何かしらのクオリティーコントロールを行って頂きたいです。</p>
<p>当院では365日24時間脳外科医が常駐しております。脳血管内治療を積極的に進めております。是非良い仕組みを作ってください。</p>
<p>既に地域連携を開始しています。脳卒中急性期のうち、くも膜下出血は時間的余裕があるので当院で血管内治療をすることが多いですが、急性期虚血性脳卒中（脳梗塞）のうち脳血管内治療対象となる患者は、t-PA治療を行いながら転院転送しています。</p>
<p>現在は個別に脳血管内治療が可能な施設と連携をとっています。他に受け入れ可能な施設の情報があれば助かります。</p>
<p>t-PA後の血管内治療は良いと考えています。当院またはグループ内病院で問題視しているのは、t-PAの薬剤費のことです。誰が負担するのか。</p>
<p>脳卒中A病院の中で、血行再建可能な施設を集約して輪番化するなど、地域での一本化を図るべきと思います。</p>
<p>当院では血管内治療医が積極的に近隣の脳卒中对応施設に出向いて、血栓回収術のエビデンスと血管内治療対象患者の転送受け入れ可能である旨説明し、転送患者が増えています。</p>
<p>必要と思います。よろしくお願い致します。</p>
<p>現在〇〇〇〇では〇〇〇〇、〇〇〇〇とも連携し昨年6例血管内治療施術して頂きました。連携が上手くいっている医療圏であると考えています。二次医療圏単位での連携が中心になるとは思いますが、あまりそれにとらわれず顔の見える連携が取ればと考えます。</p>

急性期血管内治療は脳梗塞発症から出来るだけ短時間で治療することにより効果が期待できます。従って脳卒中発症から短時間の患者さんを選択して血管内治療可能な施設に直接搬送することが望まれます。脳血管内治療専門医の数は少なく、特定の医師に負荷がかかってしまう点が課題です。

脳血管内治療をいつでも行える施設を「包括的脳卒中センター」として設定し、そこへ対象患者を直接救急搬送するシステム構築が必要。今の直近へ搬送するシステムでは治療成績向上は見込めない。脳卒中急性期医療機関でも治療内容・レベルに差が相当あることを認識していただきたい。当院の急性期脳卒中に対する血管内治療件数はおそらく都内最高のレベル。

#### B施設

急性期治療を終えた患者や早期リハビリの患者は積極的に受け入れ可能です。

脳血管内治療の医療連携体制を構築することは賛成です。

本院より血管内治療専門医を招聘するので急性期の対応は困難である。慢性期は可能。

平素よりお世話になっております。脳血管内治療は時間との戦いで、当院でも検討させて頂いたことがありましたが、急性虚血性脳卒中は治療中の出血のリスクも高く、神経内科医だけでなく脳神経外科医が必要とのことで、現状では難しいと判断いたしました。より良い医療連携の仕組みに期待しております。

当院はSCUなどの集中治療室のない10:1看護の病院です。急性期脳卒中に積極的には関与できません。

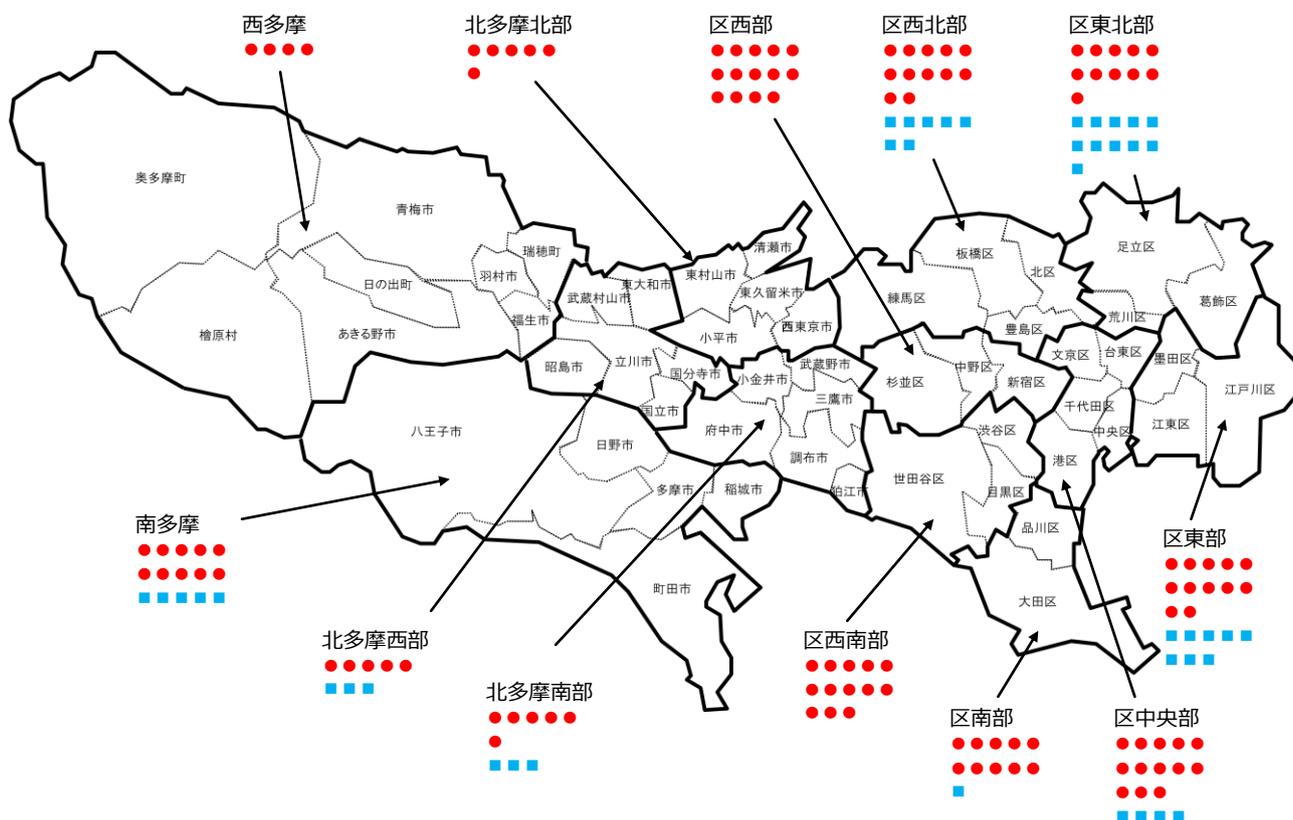
### III 資料



【二次医療圏・区市町村別】 < A施設 B施設数 >

二次医療圏	区市町村	A施設	B施設	二次医療圏	区市町村	A施設	B施設	二次医療圏	区市町村	A施設	B施設
区中央部	千代田区	3	0	区東北部	荒川区	1	2	北多摩西部	立川市	3	2
	中央区	1	0		足立区	6	6		昭島市	1	1
	港区	4	2		葛飾区	4	3		国分寺市	0	0
	文京区	4	1		墨田区	4	1		国立市	0	0
	台東区	1	1		江東区	3	6		東大和市	1	0
区南部	品川区	4	0	区東部	江戸川区	5	1	北多摩南部	武蔵村山市	0	0
	大田区	6	1		青梅市	1	0		武蔵野市	2	1
区西南部	目黒区	6	0	西多摩	福生市	2	0		三鷹市	1	1
	世田谷区	4	0		羽村市	0	0		府中市	2	0
	渋谷区	3	0		あきる野市	1	0		調布市	0	1
区西部	新宿区	9	0		瑞穂町	0	0	小金井市	0	0	
	中野区	3	0		日の出町	0	0	狛江市	1	0	
	杉並区	2	0		檜原村	0	0	小平市	1	0	
区西北部	豊島区	1	1		奥多摩町	0	0	北多摩北部	東村山市	1	0
	北区	2	0		八王子市	4	4		清瀬市	0	0
	板橋区	7	5		町田市	3	1		東久留米市	1	0
	練馬区	2	1		日野市	0	0		西東京市	3	0
				多摩市	2	0	合計			116	42
				稲城市	1	0					

※下図「●」はA施設、「■」はB施設。認定取消申請5施設は含まず。※島しょ部は該当施設なし。



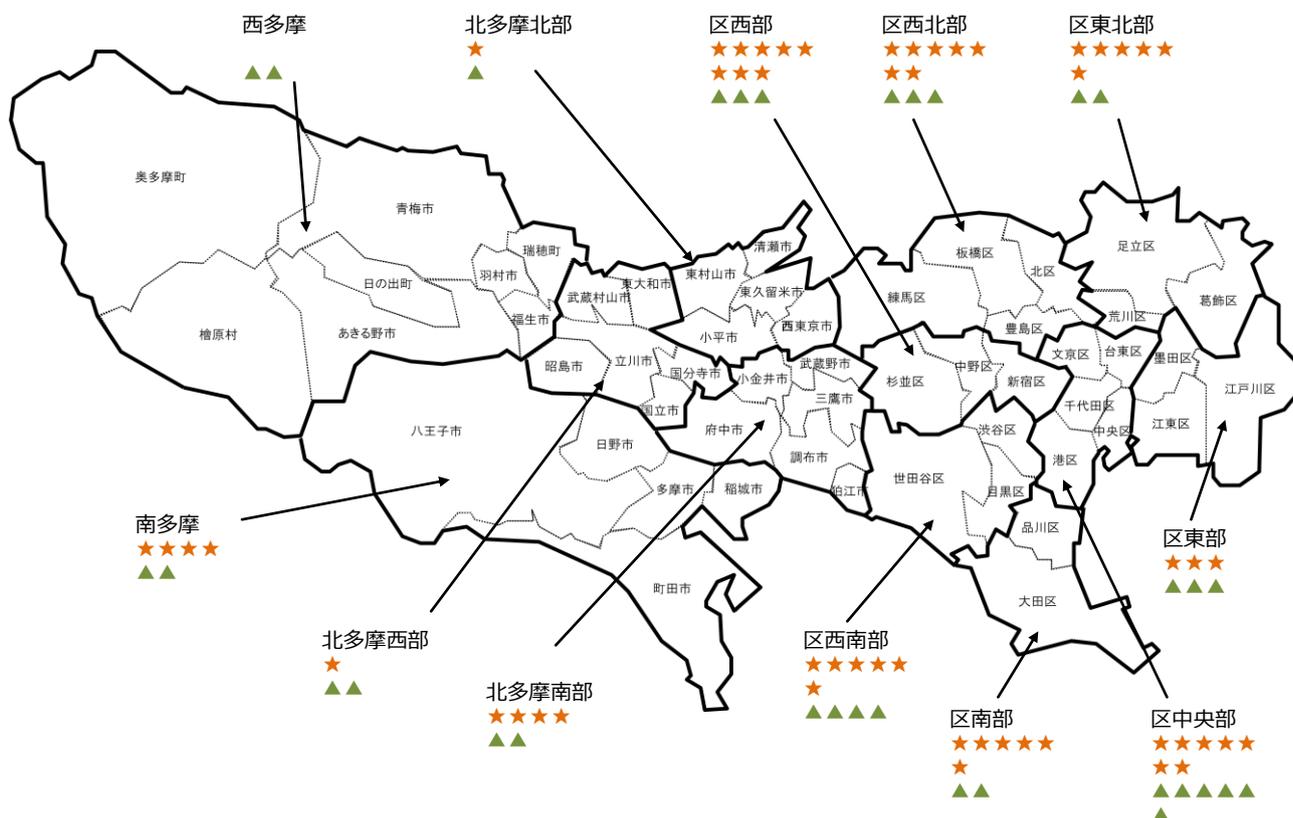
<問5で脳血管内治療は「1. 可能である」を選ばれた88施設について>

【二次医療圏別】 <急性期虚血性脳卒中に対する脳血管内治療実施可能状況>

二次医療圏	施設数計	365日24時間 可能である（オンコール可）		時間や日によって 可能である	
		施設数	割合	施設数	割合
区中央部	13	7	13.2	6	18.8
区南部	8	6	11.3	2	6.3
区西南部	10	6	11.3	4	12.5
区西部	11	8	15.1	3	9.4
区西北部	10	7	13.2	3	9.4
区東北部	8	6	11.3	2	6.3
区東部	6	3	5.7	3	9.4
西多摩	2	0	0.0	2	6.3
南多摩	6	4	7.5	2	6.3
北多摩西部	3	1	1.9	2	6.3
北多摩南部	6	4	7.5	2	6.3
北多摩北部	2	1	1.9	1	3.1
計	85	53	100.0	32	100.0

※88施設うち無回答3施設は除く。

※下図「★」は365日24時間可能である（オンコール可）、「▲」は時間や日によって可能である。



■ アンケート調査票

## 脳血管内治療に関するアンケート

- 本調査は、東京都が、東京都脳卒中急性期医療機関における脳血管内治療に関する院内体制や治療実績の把握を行うことを目的として実施するものです。調査の一部を株式会社ステージワンに委託して実施致します。
- 本調査における脳血管内治療とは、脳血管疾患に対する経皮的なカテーテル治療のことを指します。
- 平成 28 年 1 月 1 日時点の状況についてご回答ください。
- ご回答いただいた内容は取扱に十分注意し、統計的に処理するとともに、調査の目的以外での利用は致しません。また、病院が特定される形で公表されることはございません。
- 回答期限を平成 28 年 2 月 22 日（月）としております。ご多忙の折恐縮ですが、ご協力の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

**【提出先】**

郵送の場合（同封の返信用封筒をご利用ください。）

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1

東京都福祉保健局医療政策部医療政策課地域医療対策係 行

メールの場合（東京都のホームページから回答フォームをダウンロードしてご提出ください。）

S0000298@section.metro.tokyo.jp

**【調査内容に関するお問い合わせ先】**

東京都福祉保健局医療政策部医療政策課地域医療対策係 松尾・清水

TEL : 03-5320-4417（平日：9 時～17 時） FAX : 03-5388-1436（終日）

E-mail : Hiroaki\_1\_Shimizu@member.metro.tokyo.jp

ご記入者様	病 院 名		病 床 数	
	所 在 地	〒		
	担 当 者 名		部 署 ・ 役 職	
	電 話 番 号		F A X 番 号	
	メー ル ア ド レ ス			

1. t-PA の実施可否についてお伺いします。

問 1 貴施設は東京都脳卒中急性期医療機関ですか。(単一回答)

- 01 東京都脳卒中急性期医療機関である      02 東京都脳卒中急性期医療機関ではない

《問 1 で「01」を選ばれた場合のみ》

問 1-1 貴施設は脳卒中 A 施設、脳卒中 B 施設のどちらの施設ですか。(単一回答)

- 01 脳卒中 A 施設      02 脳卒中 B 施設

- ※ 1 脳卒中 A 施設：脳梗塞の超急性期において適応となる血栓溶解剤 t-PA（組織型プラスミノーゲン・アクチペーター）の治療が可能な医療機関
- ※ 2 脳卒中 B 施設：脳卒中 A 施設以外の脳卒中急性期医療機関

《問 1-1 で「01」を選ばれた場合のみ》

問 1-2 平成 27 年 1 月～12 月の t-PA 治療を実施した入院患者数を記入してください。

(          ) 人

(注) 同一人が複数回入院した場合は、複数人としてカウントしてください。

《問 1-1 で「01」を選ばれた場合のみ》

問 1-3 t-PA 治療の実施可能状況は下記のうちどちらですか。(単一回答)

- 01 365 日 24 時間可能である(オンコール可)      02 時間や日によって可能である

《問 1-3 で「02」を選ばれた場合のみ》

問 1-4 どの程度実施可能かご記入ください。

(例) 火・水・木曜日の 9～17 時

**2. 脳卒中診療に関する体制についてお伺いします。**

問2 貴施設における急性期脳卒中診療に関わる以下の医師数は何人ですか。  
(重複のないようにご記入ください。)

神経内科医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
脳神経外科医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
救急医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
その他の科の医師				
( ) 科	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
( ) 科	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人

(注) 非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

問3 問2で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医<sup>※3</sup>の医師数は何人ですか。  
(重複のないようにご記入ください。)

神経内科医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
脳神経外科医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
救急医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
その他の科の医師				
( ) 科	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
( ) 科	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人

※3 脳血管内治療専門医：ここでは日本脳神経血管内治療学会の指導医及び専門医を指すものとする。  
(注) 非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。

問4 問2で回答していただいた医師数の中で脳血管内治療専門医に準じる経験を有する医師<sup>※4</sup>の医師数は何人ですか。(重複のないようにご記入ください。)

神経内科医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
脳神経外科医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
救急医	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
その他の科の医師				
( ) 科	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人
( ) 科	( ) 人	【内訳】	常勤 ( ) 人	非常勤 ( ) 人

※4 脳血管内治療専門医に準ずる経験を有する医師：ここでは、「経皮経管的脳血栓回収用機器 適正使用指針 第2版 2015年4月」に規定されている専門医試験受験資格に相当する経験、すなわち100例の脳血管内治療（うち術者20例、血行再建術15例）の経験を有する医師を指すものとする。  
(注) 非常勤とは、常勤でなくても週に1回以上の診療を行っている場合を指すものとする。





古紙配合率100%再生紙を使用しています  
石油系溶剤を含まないインキを使用しています